

第25回「市民の声」アンケート

# 集 計 結 果

(令和5年度)

桐生市 市民生活部 市民相談情報課

# 目 次

第25回「市民の声」アンケート集計結果 . . . . .	1
●基本調査項目 . . . . .	2
●総合計画に係る基本調査項目 . . . . .	5
●幸福実感度について . . . . .	29
●シティブランディングについて . . . . .	30
●生涯を通じた健康づくりについて . . . . .	31
●地域医療について . . . . .	31
●防災について . . . . .	32
●広報について . . . . .	33
●きりゅう議会だよりについて . . . . .	35
●市内の移動について . . . . .	36
●SDGs（エスディージーズ）について . . . . .	39
●日本遺産について . . . . .	41
●インターネットの利用状況について . . . . .	43
●桐ペイについて . . . . .	45
●消費生活センターについて . . . . .	47
第25回「市民の声」アンケート自由意見集約結果 . . . . .	50

## 第25回「市民の声」アンケート集計結果

### 1 調査目的

市民参加による市政を進めるなかで、市政全般について市民の意識、意見などの傾向を調査し、今後の政策に反映させていくための参考資料とするもの。

### 2 調査項目

質問数は全体で75問。住んでいる地区、年齢、職業などの基本調査項目6問のほか、桐生市第六次総合計画の指標の一つである「市民実感度」に則った基本調査項目6分野・42問と、事業課から調査項目として要望のあった13分野・27問で構成されている。また、提言、意見などを記入していただく自由意見記入欄を設けた。

### 3 調査設計

(1) 調査区域	市内全域
(2) 調査対象	18歳以上の市民
(3) 対象者数	2,000人
(4) 抽出方法	無作為抽出
(5) 調査方法	調査票を対象者にメール便で送付し、郵送またはインターネット回答により回収
(6) 調査期間	令和5年7月15日～31日

### 4 回収結果

(1) 発送調査対象数	2,000人	(A)
(2) 回収調査対象数	1,012人	(B)
(3) 回収率	50.6%	$(B/A \times 100)$
(4) 自由意見記入欄記載者数 (件数)	373人	(865件)
(5) インターネット回答者数 (回答割合)	184人	(18.2%)

### 5 備 考

- (1) 構成比は回答総数に対する割合で示しているが、複数回答については回答者数に対する割合で示している。(※回答率と表示)
- (2) 表やグラフの作成にあたり、パーセントの算出については、小数点以下第2位を四捨五入するなどの調整を行っている。

### 6 資 料

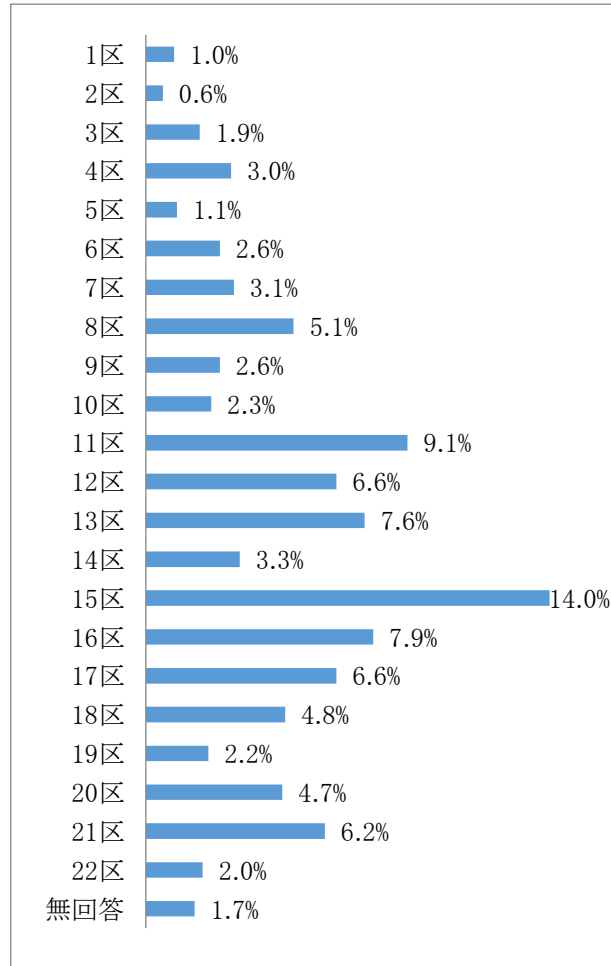
- (1) 第25回「市民の声」アンケート集計表
- (2) 第25回「市民の声」アンケート自由意見集約結果

## 第 25 回「市民の声」アンケート集計表

### 基本調査項目

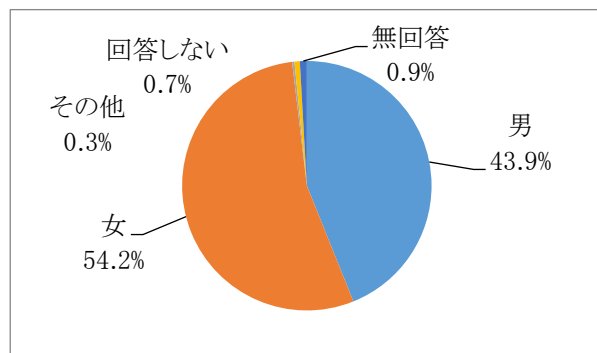
問 1 あなたのお住まいの地区に○をつけてください。

	回答数	構成比
1区	10	1.0%
2区	6	0.6%
3区	19	1.9%
4区	30	3.0%
5区	11	1.1%
6区	26	2.6%
7区	31	3.1%
8区	52	5.1%
9区	26	2.6%
10区	23	2.3%
11区	92	9.1%
12区	67	6.6%
13区	77	7.6%
14区	33	3.3%
15区	142	14.0%
16区	80	7.9%
17区	67	6.6%
18区	49	4.8%
19区	22	2.2%
20区	48	4.7%
21区	63	6.2%
22区	20	2.0%
無回答	18	1.7%
計	1,012	100.0%



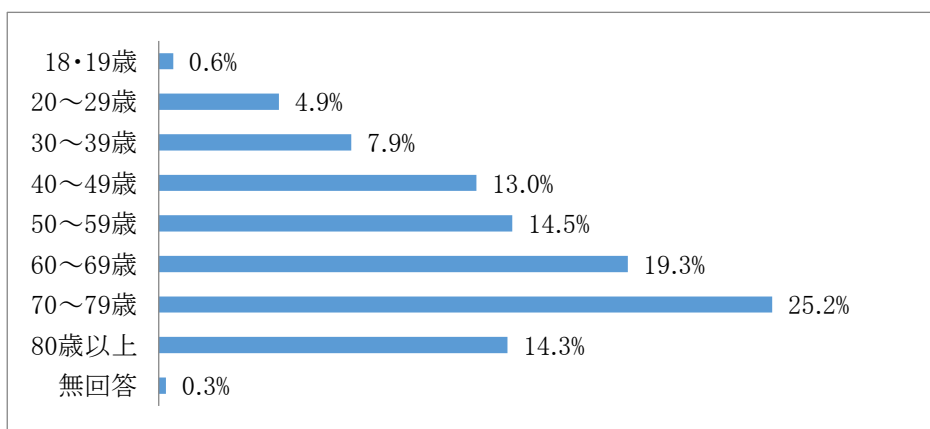
問 2 あなたの性別を選択してください。

	回答数	構成比
男	444	43.9%
女	548	54.2%
その他	3	0.3%
回答しない	7	0.7%
無回答	10	0.9%
計	1,012	100.0%



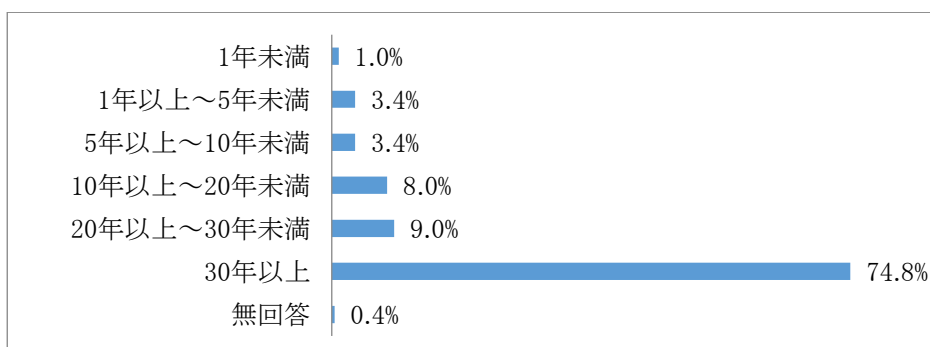
問3 あなたの年齢はおいくつですか。

	回答数	構成比
18・19歳	6	0.6%
20～29歳	50	4.9%
30～39歳	80	7.9%
40～49歳	132	13.0%
50～59歳	147	14.5%
60～69歳	195	19.3%
70～79歳	255	25.2%
80歳以上	145	14.3%
無回答	2	0.3%
計	1,012	100.0%



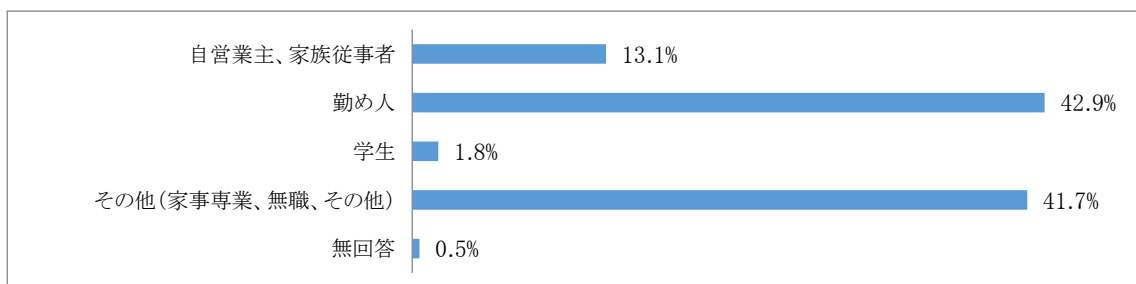
問4 あなたは桐生市に住んでどのくらいになりますか。

	回答数	構成比
1年未満	10	1.0%
1年以上～5年未満	34	3.4%
5年以上～10年未満	34	3.4%
10年以上～20年未満	81	8.0%
20年以上～30年未満	91	9.0%
30年以上	757	74.8%
無回答	5	0.4%
計	1,012	100.0%



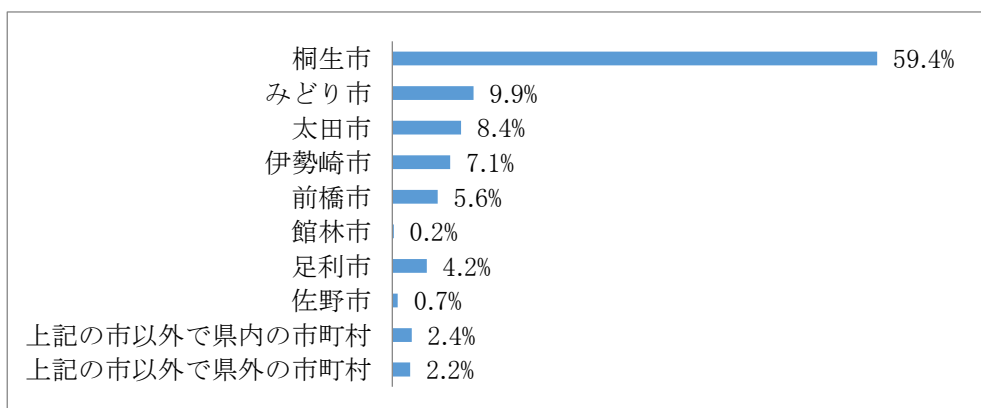
問5 あなたの職業に○をつけてください。兼業の方は、本業と思われるほうに○をつけてください。

	回答数	構成比
自営業主、家族従事者（農・林・漁業、会社・工場・商店などの経営、自由業）	133	13.1%
勤め人（会社・工場・商店・官公庁などに勤務、パート・アルバイト含む）	434	42.9%
学生	18	1.8%
その他（家事専業、無職、その他）	422	41.7%
無回答	5	0.5%
計	1,012	100.0%



問6 あなたの勤務先（事業所・工場・商店などの所在地）や通学先はどちらですか。

	回答数	構成比 (無回答を除く)
桐生市	352	59.4%
みどり市	59	9.9%
太田市	50	8.4%
伊勢崎市	42	7.1%
前橋市	33	5.6%
館林市	1	0.2%
足利市	25	4.2%
佐野市	4	0.7%
上記の市以外で県内の市町村	14	2.4%
上記の市以外で県外の市町村	13	2.2%
無回答	419	
計	1,012	100.0%



問7 あなたの暮らしやお住まいの地区、桐生市についてお聞きします。次の項目について、あなたの実感に最も近いものに○をつけてください。

本設問は、桐生市におけるまちづくりの指針となる桐生市第六次総合計画（計画期間：2020年度～2027年度）において、行政分野に関する市民の実感度を計画推進に当たっての目標指標の一つとするために設定したもので、今後、各種施策を推進することにより、各市民実感度の向上を図るものである。なお、各設問に対して「大いに感じる」と「やや感じる」と回答した割合を合わせたものを、「感じる」として「市民実感度」と捉えている。

#### 1. 産業経済の振興（産業、観光）

「企業誘致に取り組み、工場の建設などが進んでいる」、「中心市街地、商店街はにぎわっている」、「農林業は元気で活力がある」の設問では、前回調査時に比べ、市民実感度（感じる）（以下、問7では「感じる」という。）の割合が2倍近く増加し、「感じない」と「あまり感じない」の合計（以下、問7では「感じない」という。）の割合は減少した。また、労働や観光に関する設問でも、前回調査時に比べ、「感じる」と回答した割合が増加し、「感じない」と回答した割合が減少した。

#### 2. 福祉・健康の増進（福祉、健康、医療）

「障がいのある人にとって暮らしやすいまちである」や「経済的に弱い立場の人の生活を支える仕組みや自立を促す仕組みが整っている」の設問では、前回調査時に比べ、「感じる」と回答した割合が増加するとともに、「感じない」と回答した割合も増加した。

なお、子育て支援、高齢者福祉、医療などに関する設問については、前回調査時に比べ、「感じる」と回答した割合が減少し、「感じない」と回答した割合が増加した。

#### 3. 教育・文化の向上（教育、生涯学習、芸術・文化、スポーツ）

「生涯にわたって学習できる環境が充実している」、「自分は桐生市の芸術や文化、文化財に愛着や誇りを感じる」、「気軽に運動をする場所や機会、体を動かしたりする環境が整っている」の設問では、前回調査時に比べ「感じる」と回答した割合が増加し、「感じない」と回答した割合が減少した。また、教育に関する設問の中には、前回調査時に比べ、「感じる」と回答した割合が減少し、「感じない」と回答した割合が増加した設問もあった。

#### 4. 生活環境の向上（環境、安全・安心）

「自分は節電や環境に配慮した製品の購入など日頃から地球環境に配慮した生活をしている」、「自分は日頃から、ごみの減量や資源のリサイクルを意識して生活をしている」、「消防や救急の体制が十分に整っている」、「お住まいの地区は治安が良く、安心して暮らすことができる」の設問では、前回調査時と同様に、「感じる」が5割を超える結果となった。

なお、災害に関する設問では、前回調査時に比べ、「感じる」と回答した割合が増加し、「感じない」と回答した割合が減少した。

## 5. 都市基盤の整備（都市基盤）

「お住まいの地区はいつでも安心して水道が使える」、「お住まいの地区では下水道の整備や各家庭での浄化槽設置などが進められ、快適に暮らすことができる」、「桐生市の自然環境は良い」の設問では、前回調査時と同様に、「感じる」と回答した割合が7割を超える結果となった。

なお、まちづくりや住環境に関する設問では、前回調査時に比べ、「感じる」・「感じない」と回答した割合がともに増加した。

また、公共交通や公園・緑地の整備に関する設問では、前回調査時に比べ、「感じる」と回答した割合が増加し、「感じない」と回答した割合が減少する結果となった。

## 6. 計画推進のために（協働、行政運営）

「桐生市に対して、まちとしての価値や魅力を感じる」、「市民の声を適切に聴き取り、積極的に情報を発信している」、「効率的な行政運営が行われ、必要な行政サービスが提供されている」の設問では、前回調査時に比べ、「感じる」と回答した割合が増加し、「感じない」と回答した割合が減少した結果、「感じる」が「感じない」を上回る結果となった。

また、男女共同参画や多文化共生に関する設問では、「感じる」と回答した割合を「感じない」と回答した割合が上回り、その差も前回調査時に比べ、拡大した。

なお、今回の調査で初めて設定したデジタル化に関する設問では、「感じる」と回答した割合が「感じない」と回答した割合を12ポイント上回る結果となった。

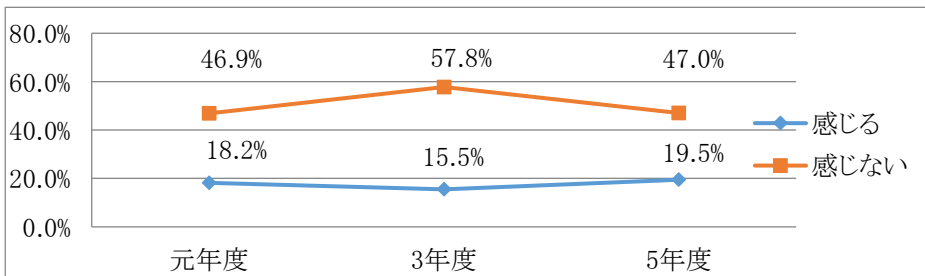
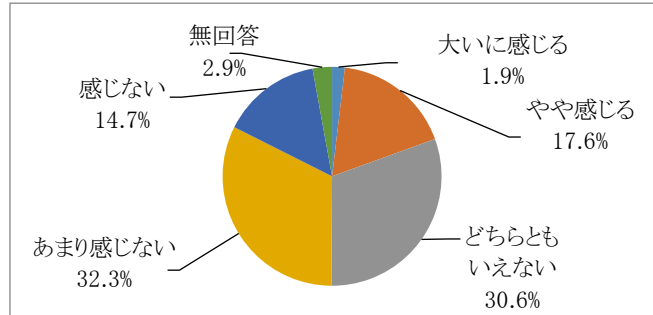


## 1. 産業経済の振興（産業、観光）

### 1. 桐生市のもづくり産業は元気で活力がある

「大いに感じる」(1.9%)と「やや感じる」(17.6%)の合計は19.5%と市民実感度が前回調査時の15.5%から4.0ポイント増加しているが、「感じない」(14.7%)と「あまり感じない」(32.3%)の合計47.0%を27.5ポイント下回っている。

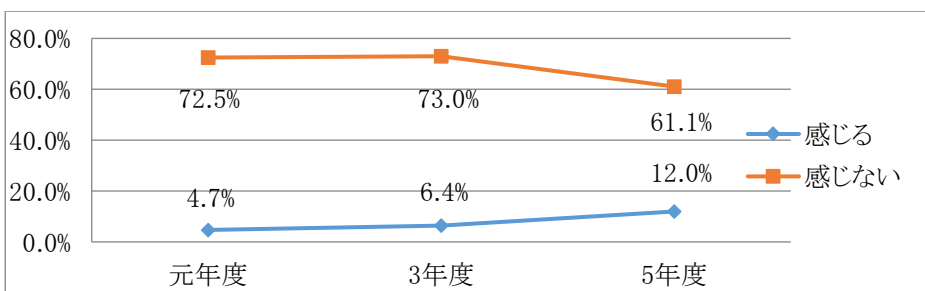
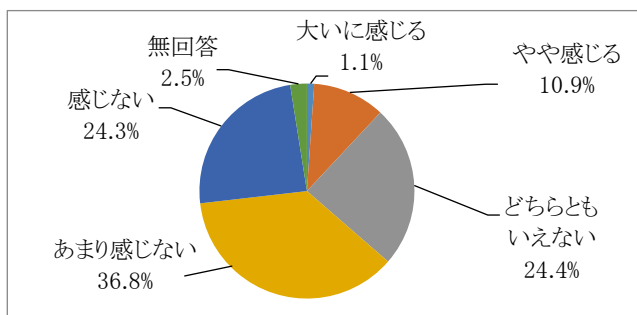
	回答数	構成比
大いに感じる	19	1.9%
やや感じる	178	17.6%
どちらともいえない	310	30.6%
あまり感じない	327	32.3%
感じない	149	14.7%
無回答	29	2.9%
計	1,012	100.0%



### 2. 桐生市は企業誘致に取り組み、工場の建設などが進んでいる

「大いに感じる」(1.1%)と「やや感じる」(10.9%)の合計は12.0%と市民実感度が前回調査時の6.4%から5.6ポイント増加しているが、「感じない」(24.3%)と「あまり感じない」(36.8%)の合計61.1%を49.1ポイント下回っている。

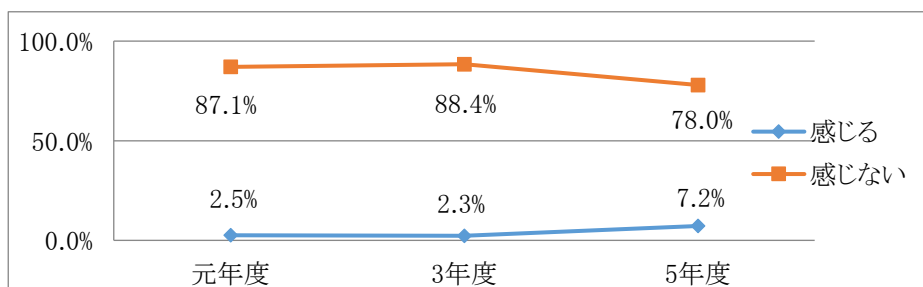
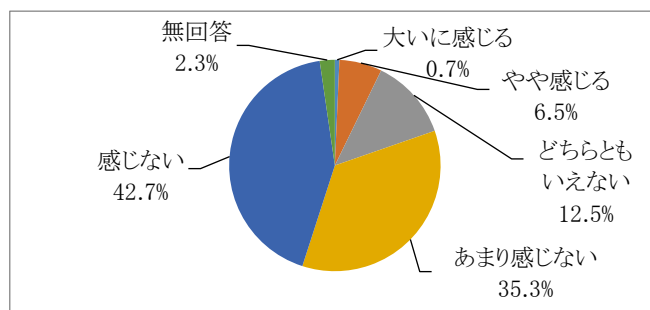
	回答数	構成比
大いに感じる	11	1.1%
やや感じる	110	10.9%
どちらともいえない	247	24.4%
あまり感じない	372	36.8%
感じない	246	24.3%
無回答	26	2.5%
計	1,012	100.0%



### 3. 桐生市の中心市街地、商店街はにぎわっている

「大いに感じる」(0.7%)と「やや感じる」(6.5%)の合計は7.2%と市民実感が前回調査時の2.3%から4.9ポイント増加しているが、「感じない」(42.7%)と「あまり感じない」(35.3%)の合計78.0%を70.8ポイント下回っている。

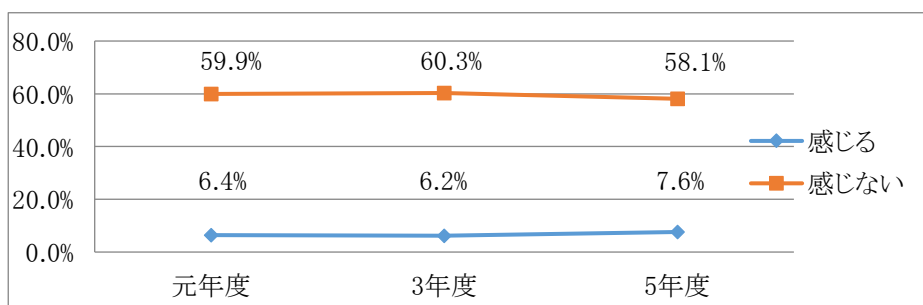
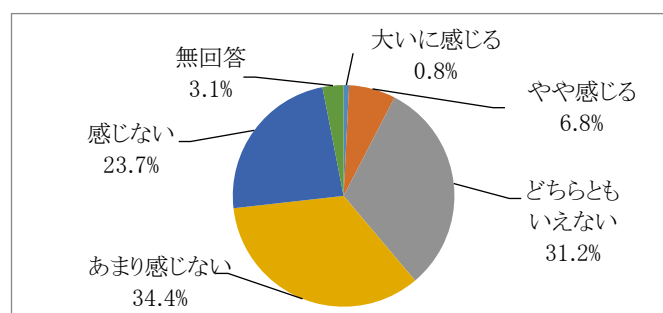
	回答数	構成比
大いに感じる	7	0.7%
やや感じる	66	6.5%
どちらともいえない	126	12.5%
あまり感じない	357	35.3%
感じない	432	42.7%
無回答	24	2.3%
計	1,012	100.0%



### 4. 桐生市は働きやすい環境が整っている

「大いに感じる」(0.8%)と「やや感じる」(6.8%)の合計は7.6%と市民実感が前回調査時の6.2%から1.4ポイント増加しているが、「感じない」(23.7%)と「あまり感じない」(34.4%)の合計58.1%を50.5ポイント下回っている。

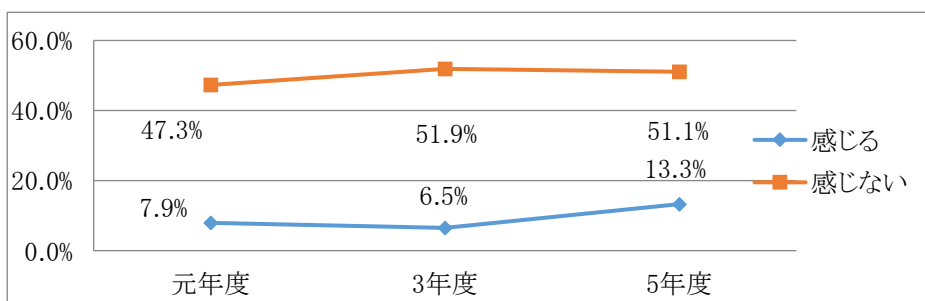
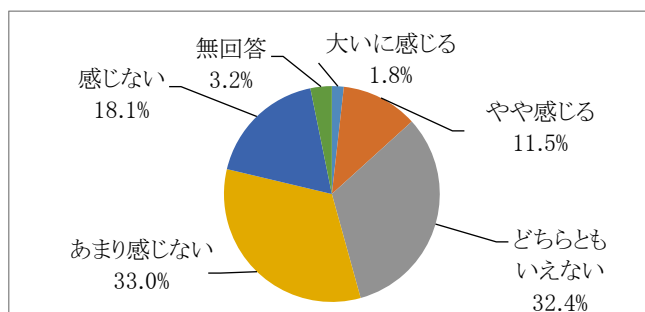
	回答数	構成比
大いに感じる	8	0.8%
やや感じる	69	6.8%
どちらともいえない	316	31.2%
あまり感じない	348	34.4%
感じない	240	23.7%
無回答	31	3.1%
計	1,012	100.0%



## 5. 桐生市の農林業は元気で活力がある

「大いに感じる」(1.8%)と「やや感じる」(11.5%)の合計は13.3%と市民実感度が前回調査時の6.5%から6.8ポイント増加しているが、「感じない」(18.1%)と「あまり感じない」(33.0%)の合計51.1%を37.8ポイント下回っている。

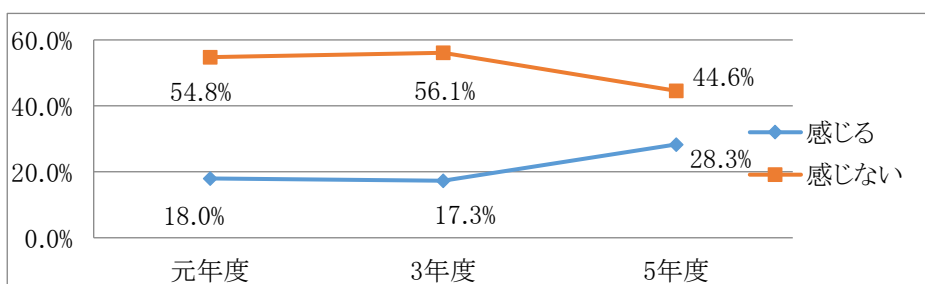
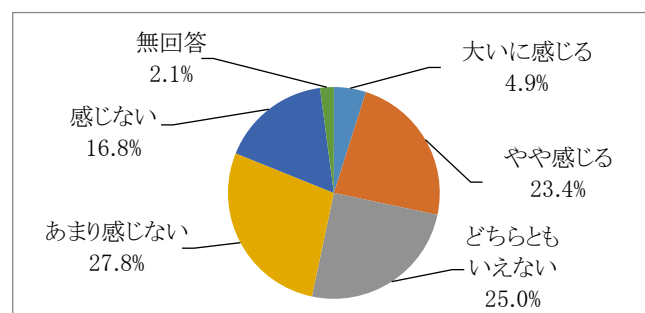
	回答数	構成比
大いに感じる	18	1.8%
やや感じる	117	11.5%
どちらともいえない	328	32.4%
あまり感じない	334	33.0%
感じない	183	18.1%
無回答	32	3.2%
計	1,012	100.0%



## 6. 桐生市は観光地として市外から人が訪れたい魅力のあるまちである

「大いに感じる」(4.9%)と「やや感じる」(23.4%)の合計は28.3%と市民実感度が前回調査時の17.3%から11.0ポイント増加しているが、「感じない」(16.8%)と「あまり感じない」(27.8%)の合計44.6%を16.3ポイント下回っている。

	回答数	構成比
大いに感じる	49	4.9%
やや感じる	237	23.4%
どちらともいえない	253	25.0%
あまり感じない	281	27.8%
感じない	170	16.8%
無回答	22	2.1%
計	1,012	100.0%

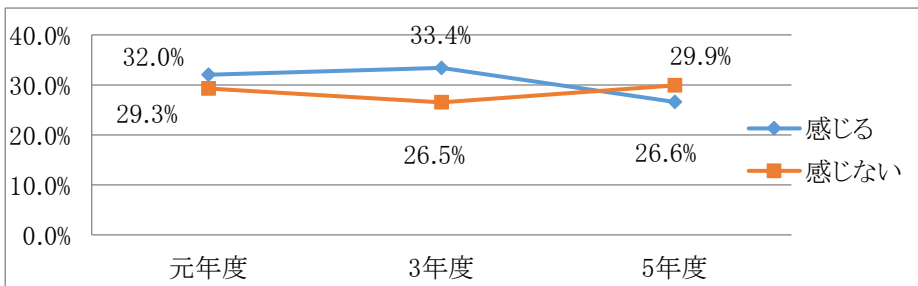
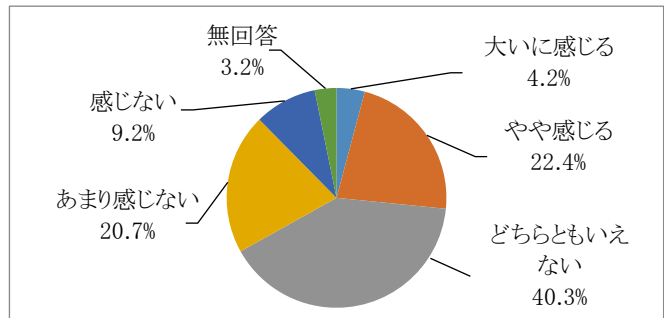


## 2. 福祉・健康の増進（福祉、健康、医療）

### 1. 桐生市は安心して子どもを産み、育てることができるまちである

「大いに感じる」(4.2%)と「やや感じる」(22.4%)の合計は26.6%と市民実感度が前回調査時の33.4%から6.8ポイント減少しており、「感じない」(9.2%)と「あまり感じない」(20.7%)の合計29.9%を3.3ポイント下回っている。

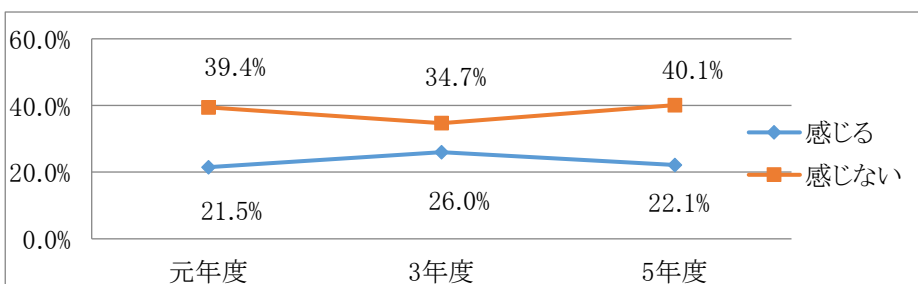
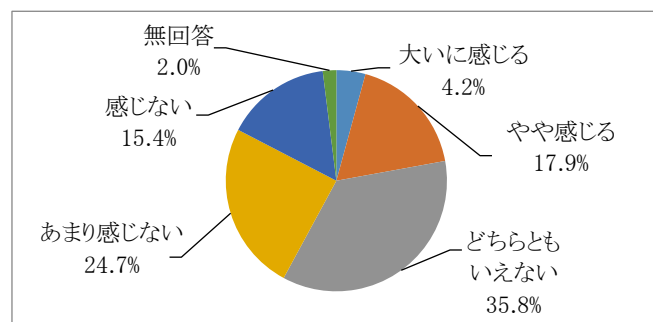
	回答数	構成比
大いに感じる	42	4.2%
やや感じる	227	22.4%
どちらともいえない	408	40.3%
あまり感じない	210	20.7%
感じない	93	9.2%
無回答	32	3.2%
計	1,012	100.0%



### 2. 桐生市は高齢者にとって暮らしやすいまちである

「大いに感じる」(4.2%)と「やや感じる」(17.9%)の合計は22.1%と市民実感度が前回調査時の26.0%から3.9ポイント減少しており、「感じない」(15.4%)と「あまり感じない」(24.7%)の合計40.1%を18.0ポイント下回っている。

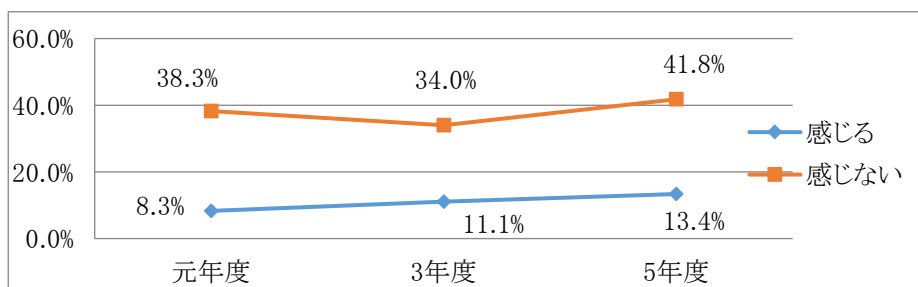
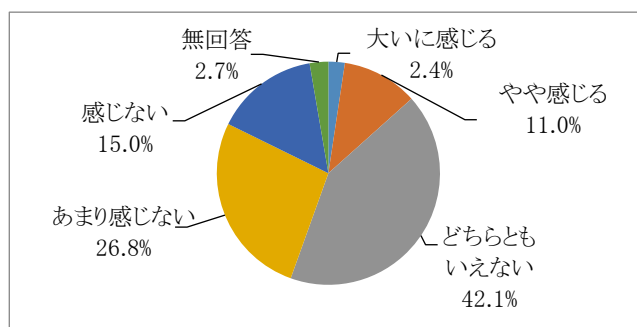
	回答数	構成比
大いに感じる	43	4.2%
やや感じる	181	17.9%
どちらともいえない	362	35.8%
あまり感じない	250	24.7%
感じない	156	15.4%
無回答	20	2.0%
計	1,012	100.0%



### 3. 桐生市は障がいのある人にとって暮らしやすいまちである

「大いに感じる」(2.4%)と「やや感じる」(11.0%)の合計は13.4%と市民実感度が前回調査時の11.1%から2.3ポイント増加しているが、「感じない」(15.0%)と「あまり感じない」(26.8%)の合計41.8%を28.4ポイント下回っている。

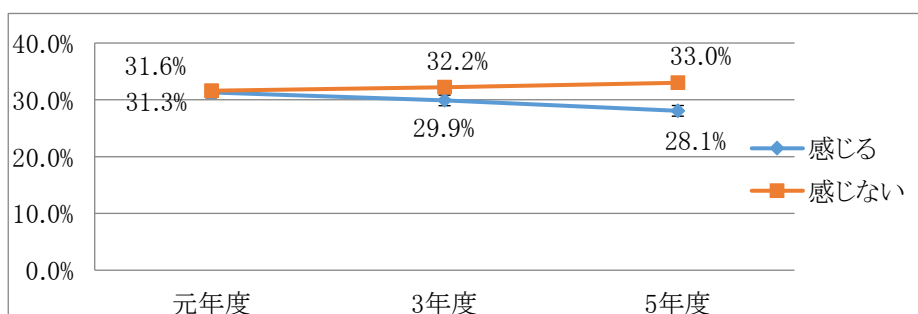
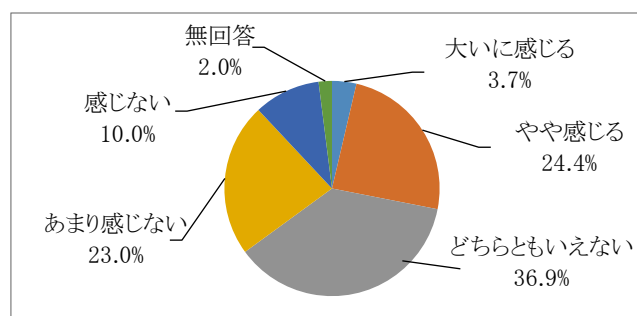
	回答数	構成比
大いに感じる	24	2.4%
やや感じる	112	11.0%
どちらともいえない	426	42.1%
あまり感じない	271	26.8%
感じない	152	15.0%
無回答	27	2.7%
計	1,012	100.0%



### 4. お住まいの地区には困っている人を見かけたときに声をかけたり協力したりしやすい雰囲気がある

「大いに感じる」(3.7%)と「やや感じる」(24.4%)の合計は28.1%と市民実感度が前回調査時の29.9%から1.8ポイント減少しており、「感じない」(10.0%)と「あまり感じない」(23.0%)の合計33.0%を4.9ポイント下回っている。

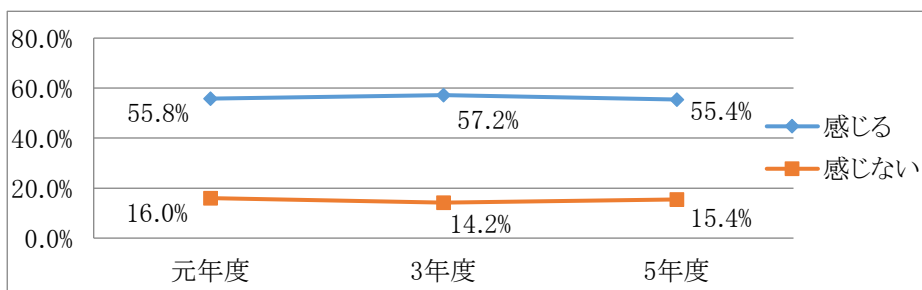
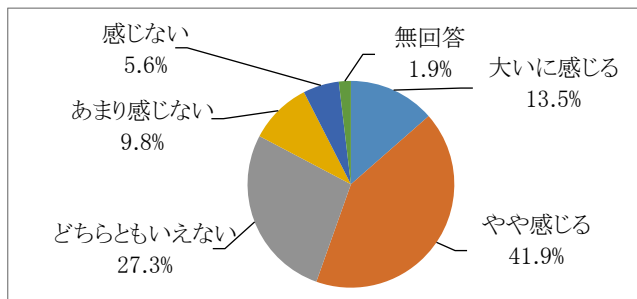
	回答数	構成比
大いに感じる	37	3.7%
やや感じる	247	24.4%
どちらともいえない	373	36.9%
あまり感じない	233	23.0%
感じない	101	10.0%
無回答	21	2.0%
計	1,012	100.0%



## 5. 自分は心身ともに健康的な生活を送ることができている

「大いに感じる」(13.5%)と「やや感じる」(41.9%)の合計は55.4%と市民実感度が前回調査時の57.2%から1.8ポイント減少しているが、「感じない」(5.6%)と「あまり感じない」(9.8%)の合計15.4%を40.0ポイント上回っている。

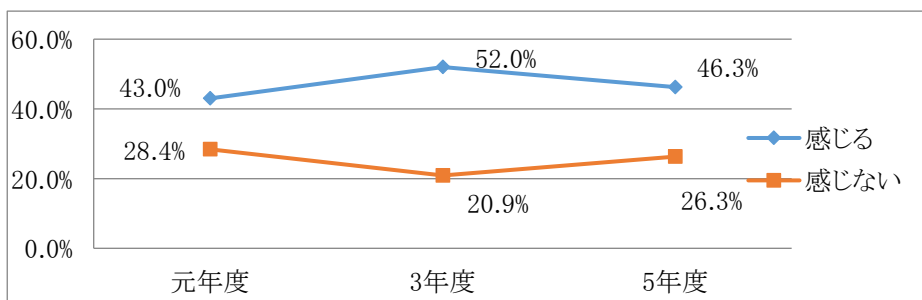
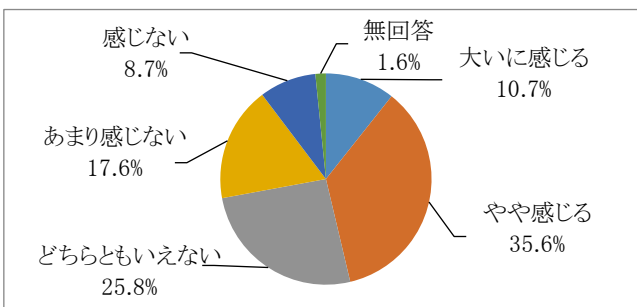
	回答数	構成比
大いに感じる	137	13.5%
やや感じる	424	41.9%
どちらともいえない	276	27.3%
あまり感じない	99	9.8%
感じない	57	5.6%
無回答	19	1.9%
計	1,012	100.0%



## 6. お住まいの地区には安心してかかることができる医療機関（病院や薬局など）が充実している

「大いに感じる」(10.7%)と「やや感じる」(35.6%)の合計は46.3%と市民実感度が前回調査時の52.0%から5.7ポイント減少しているが、「感じない」(8.7%)と「あまり感じない」(17.6%)の合計26.3%を20.0ポイント上回っている。

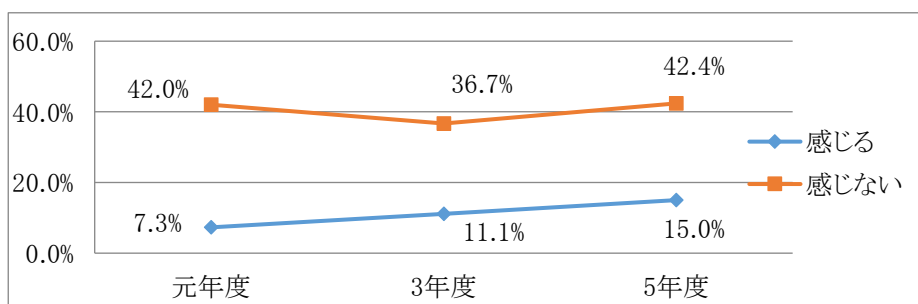
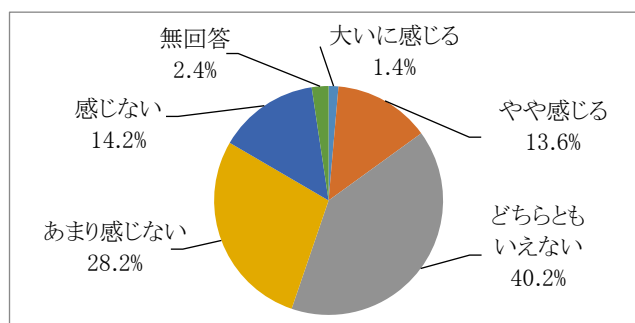
	回答数	構成比
大いに感じる	108	10.7%
やや感じる	361	35.6%
どちらともいえない	261	25.8%
あまり感じない	178	17.6%
感じない	88	8.7%
無回答	16	1.6%
計	1,012	100.0%



## 7. 桐生市は経済的に弱い立場の人の生活を支える仕組みや自立を促す仕組みが整っている

「大いに感じる」(1.4%)と「やや感じる」(13.6%)の合計は15.0%と市民実感度が前回調査時の11.1%から3.9ポイント増加しているが、「感じない」(14.2%)と「あまり感じない」(28.2%)の合計42.4%を27.4ポイント下回っている。

	回答数	構成比
大いに感じる	14	1.4%
やや感じる	138	13.6%
どちらともいえない	407	40.2%
あまり感じない	285	28.2%
感じない	144	14.2%
無回答	24	2.4%
計	1,012	100.0%

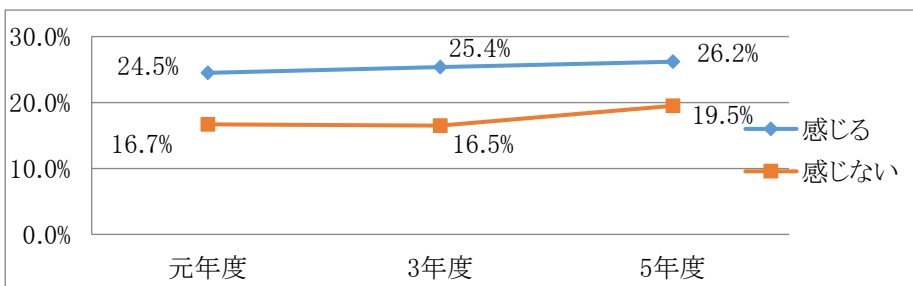
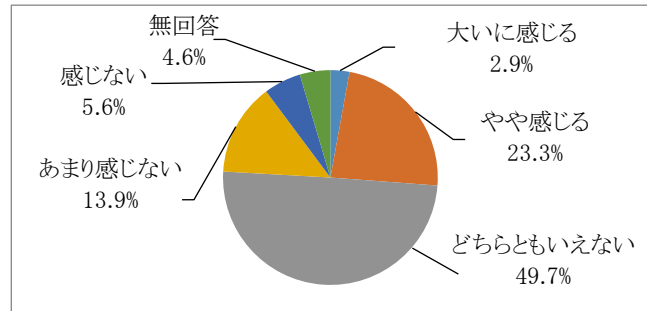


### 3. 教育・文化の向上（教育、生涯学習、芸術・文化、スポーツ）

#### 1. お住まいの地区では子どもが社会で生活していく上で必要な学力や体力、生活習慣などをしっかり身につけている

「大いに感じる」(2.9%)と「やや感じる」(23.3%)の合計は26.2%と市民実感度が前回調査時の25.4%から0.8ポイント増加しており、「感じない」(5.6%)と「あまり感じない」(13.9%)の合計19.5%を6.7ポイント上回っている。

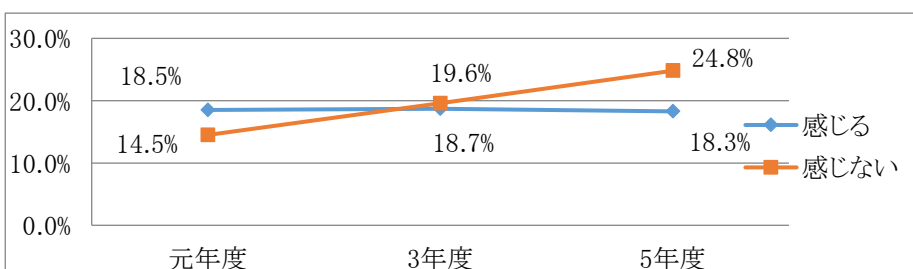
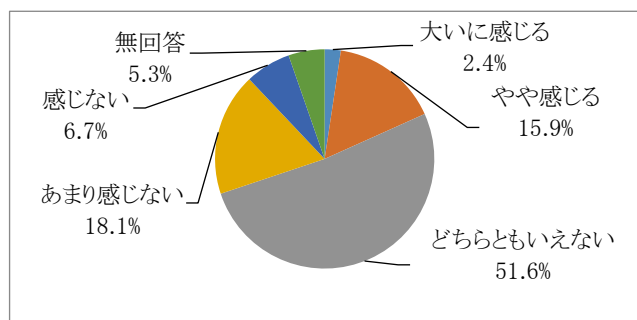
	回答数	構成比
大いに感じる	29	2.9%
やや感じる	236	23.3%
どちらともいえない	503	49.7%
あまり感じない	141	13.9%
感じない	56	5.6%
無回答	47	4.6%
計	1,012	100.0%



#### 2. 桐生市は児童・生徒・保護者のための教育に関する相談・支援体制が充実している

「大いに感じる」(2.4%)と「やや感じる」(15.9%)の合計は18.3%と市民実感度が前回調査時の18.7%から0.4ポイント減少しており、「感じない」(6.7%)と「あまり感じない」(18.1%)の合計24.8%を6.5ポイント下回っている。

	回答数	構成比
大いに感じる	24	2.4%
やや感じる	161	15.9%
どちらともいえない	522	51.6%
あまり感じない	183	18.1%
感じない	68	6.7%
無回答	54	5.3%
計	1,012	100.0%

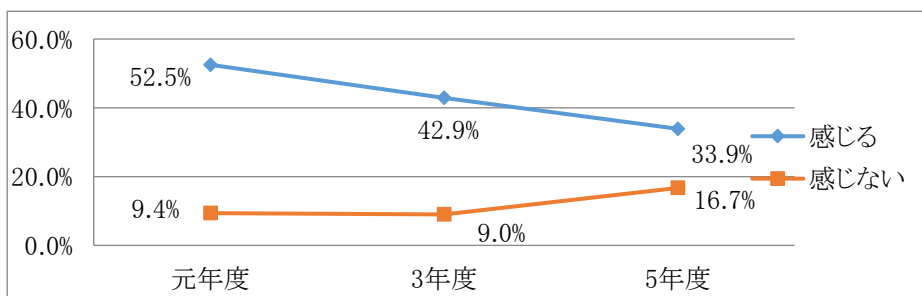
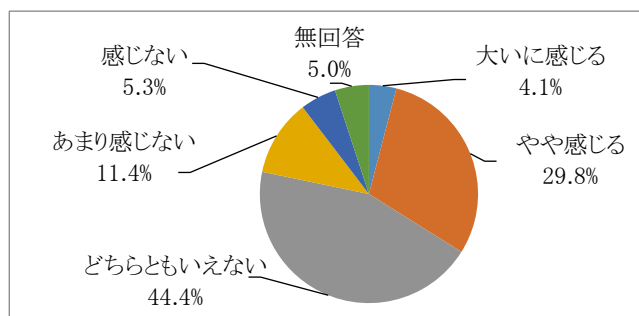




### 3. お住まいの地区では子どもが健全に育っている

「大いに感じる」(4.1%)と「やや感じる」(29.8%)の合計は33.9%と市民実感度が前回調査時の42.9%から9.0ポイント減少しているが、「感じない」(5.3%)と「あまり感じない」(11.4%)の合計16.7%を17.2ポイント上回っている。

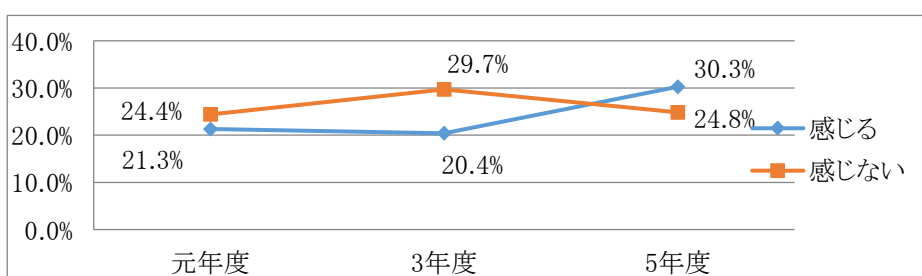
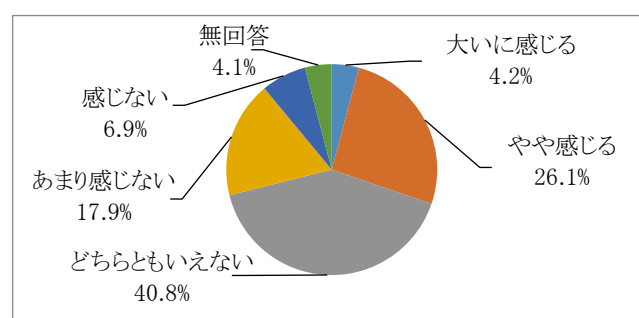
	回答数	構成比
大いに感じる	41	4.1%
やや感じる	302	29.8%
どちらともいえない	449	44.4%
あまり感じない	115	11.4%
感じない	54	5.3%
無回答	51	5.0%
計	1,012	100.0%



### 4. 桐生市は生涯にわたって学習できる環境が充実している

「大いに感じる」(4.2%)と「やや感じる」(26.1%)の合計は30.3%と市民実感度が前回調査時の20.4%から9.9ポイント増加しており、「感じない」(6.9%)と「あまり感じない」(17.9%)の合計24.8%を5.5ポイント上回っている。

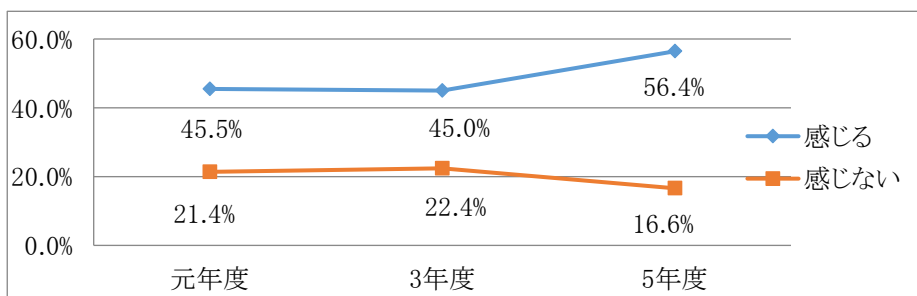
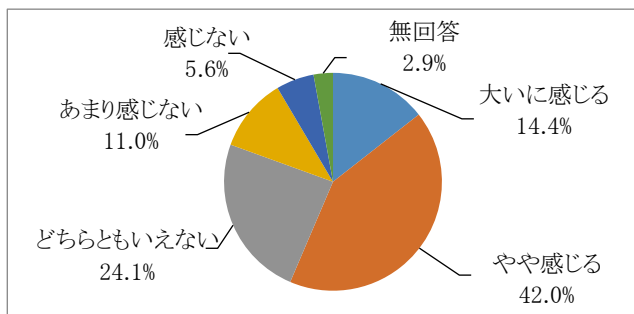
	回答数	構成比
大いに感じる	42	4.2%
やや感じる	265	26.1%
どちらともいえない	413	40.8%
あまり感じない	181	17.9%
感じない	70	6.9%
無回答	41	4.1%
計	1,012	100.0%



## 5. 自分は桐生市の芸術や文化、文化財に愛着や誇りを感じる

「大いに感じる」(14.4%)と「やや感じる」(42.0%)の合計は56.4%と市民実感度が前回調査時の45.0%から11.4ポイント増加しており、「感じない」(5.6%)と「あまり感じない」(11.0%)の合計16.6%を39.8ポイント上回っている。

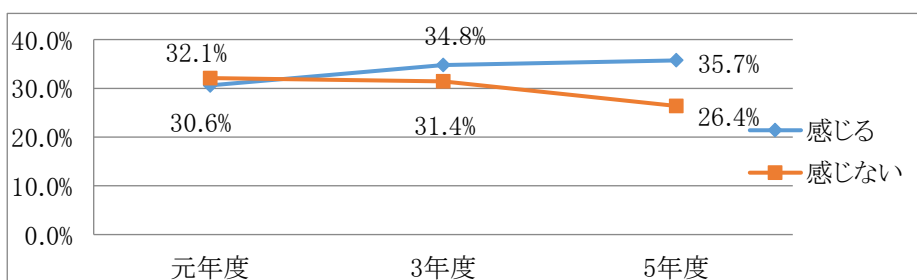
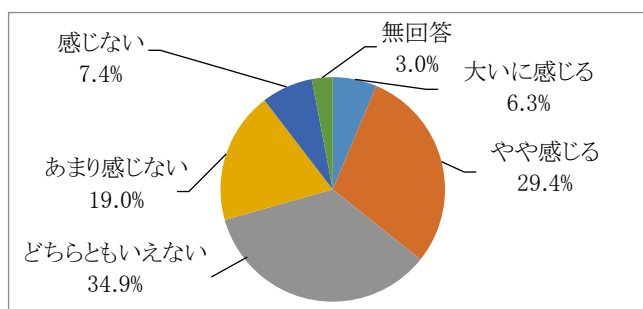
	回答数	構成比
大いに感じる	146	14.4%
やや感じる	425	42.0%
どちらともいえない	244	24.1%
あまり感じない	111	11.0%
感じない	57	5.6%
無回答	29	2.9%
計	1,012	100.0%



## 6. 桐生市には気軽に運動をする場所や機会、体を動かしたりする環境が整っている

「大いに感じる」(6.3%)と「やや感じる」(29.4%)の合計は35.7%と市民実感度が前回調査時の34.8%から0.9ポイント増加しており、「感じない」(7.4%)と「あまり感じない」(19.0%)の合計26.4%を9.3ポイント上回っている。

	回答数	構成比
大いに感じる	64	6.3%
やや感じる	297	29.4%
どちらともいえない	353	34.9%
あまり感じない	192	19.0%
感じない	75	7.4%
無回答	31	3.0%
計	1,012	100.0%

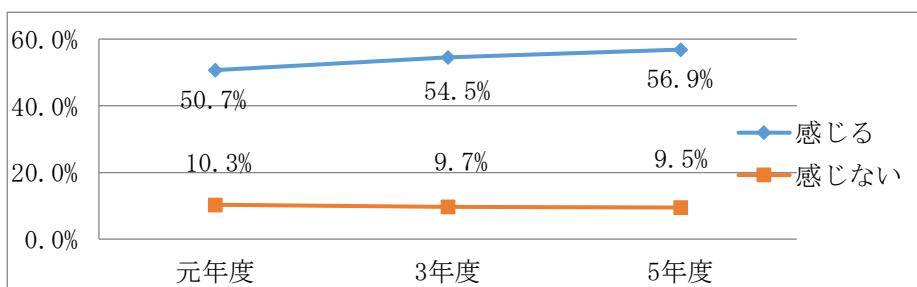
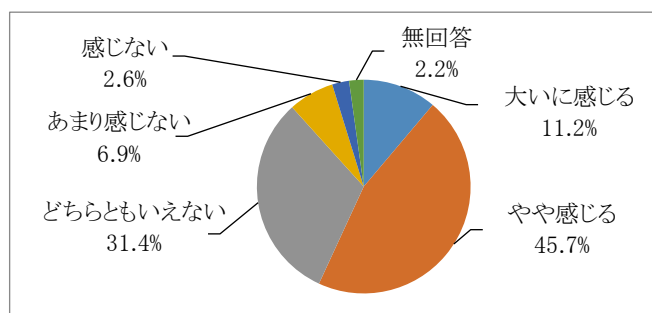


#### 4. 生活環境の向上（環境、安全・安心）

##### 1. 自分は節電や環境に配慮した製品の購入など日頃から地球環境に配慮した生活をしている

「大いに感じる」(11.2%)と「やや感じる」(45.7%)の合計は56.9%と市民実感度が前回調査時の54.5%から2.4ポイント増加しており、「感じない」(2.6%)と「あまり感じない」(6.9%)の合計9.5%を47.4ポイント上回っている。

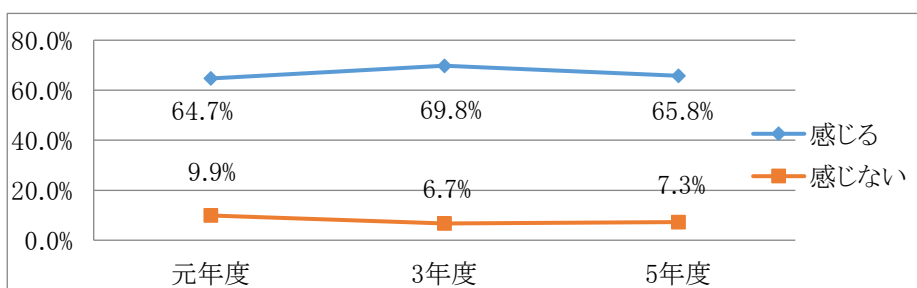
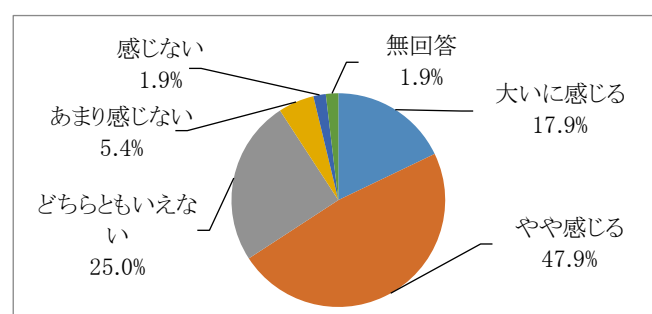
	回答数	構成比
大いに感じる	113	11.2%
やや感じる	463	45.7%
どちらともいえない	318	31.4%
あまり感じない	70	6.9%
感じない	26	2.6%
無回答	22	2.2%
計	1,012	100.0%



##### 2. 自分は日頃から、ごみの減量や資源のリサイクルを意識して生活をしている

「大いに感じる」(17.9%)と「やや感じる」(47.9%)の合計は65.8%と市民実感度が前回調査時の69.8%から4.0ポイント減少しているが、「感じない」(1.9%)と「あまり感じない」(5.4%)の合計7.3%を58.5ポイント上回っている。

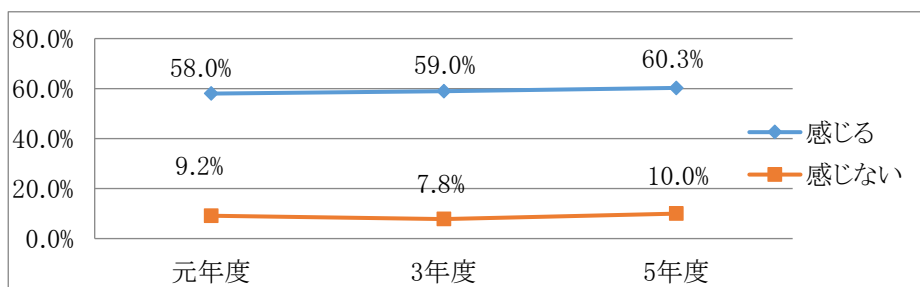
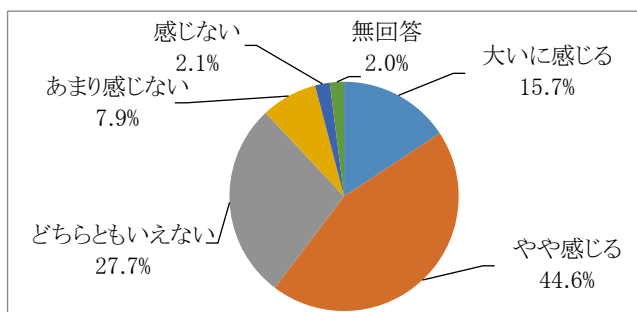
	回答数	構成比
大いに感じる	181	17.9%
やや感じる	485	47.9%
どちらともいえない	253	25.0%
あまり感じない	55	5.4%
感じない	19	1.9%
無回答	19	1.9%
計	1,012	100.0%



### 3. 桐生市は消防や救急の体制が十分に整っている

「大いに感じる」(15.7%)と「やや感じる」(44.6%)の合計は60.3%と市民実感が前回調査時の59.0%から1.3ポイント増加しており、「感じない」(2.1%)と「あまり感じない」(7.9%)の合計10.0%を50.3ポイント上回っている。

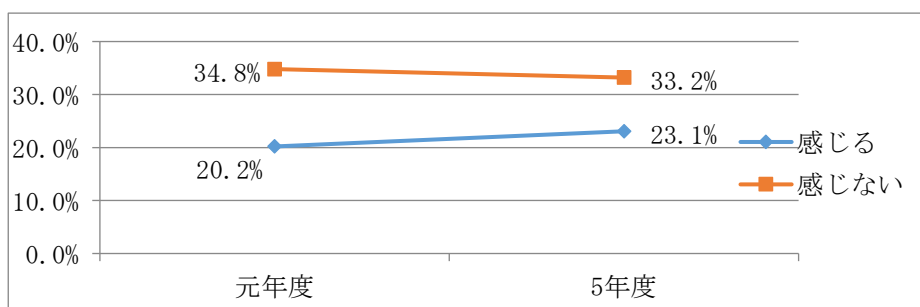
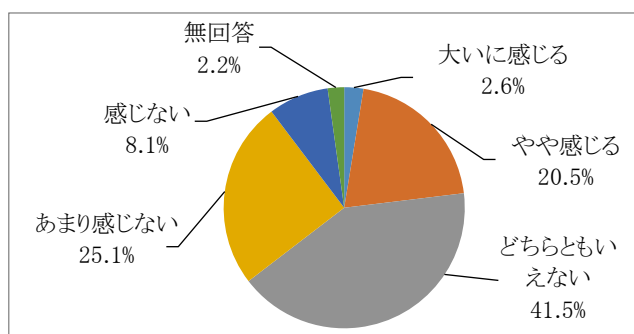
	回答数	構成比
大いに感じる	159	15.7%
やや感じる	451	44.6%
どちらともいえない	280	27.7%
あまり感じない	80	7.9%
感じない	21	2.1%
無回答	21	2.0%
計	1,012	100.0%



### 4. 自分は災害（地震・火災・風水害）に対する備えが十分であるという安心感を持っている

「大いに感じる」(2.6%)と「やや感じる」(20.5%)の合計は23.1%であり、「感じない」(8.1%)と「あまり感じない」(25.1%)の合計33.2%を10.1ポイント下回っている。

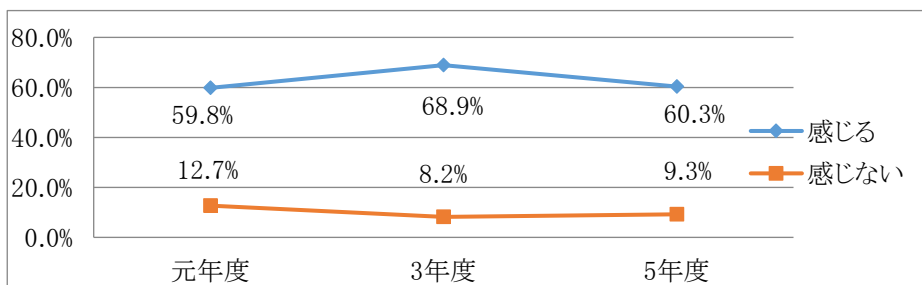
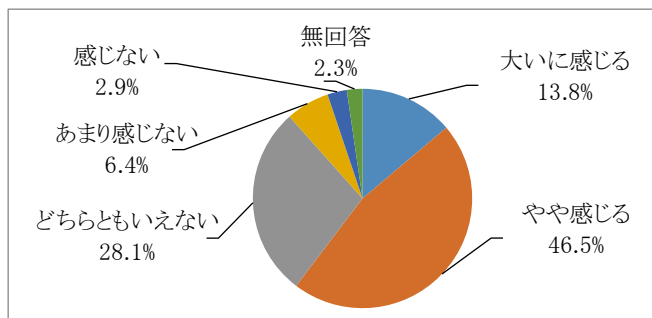
	回答数	構成比
大いに感じる	26	2.6%
やや感じる	208	20.5%
どちらともいえない	420	41.5%
あまり感じない	254	25.1%
感じない	82	8.1%
無回答	22	2.2%
計	1,012	100.0%



## 5. お住まいの地区は治安が良く、安心して暮らすことができる

「大いに感じる」(13.8%)と「やや感じる」(46.5%)の合計は60.3%と市民実感度が前回調査時の68.9%から8.6ポイント減少しているが、「感じない」(2.9%)と「あまり感じない」(6.4%)の合計9.3%を51.0ポイント上回っている。

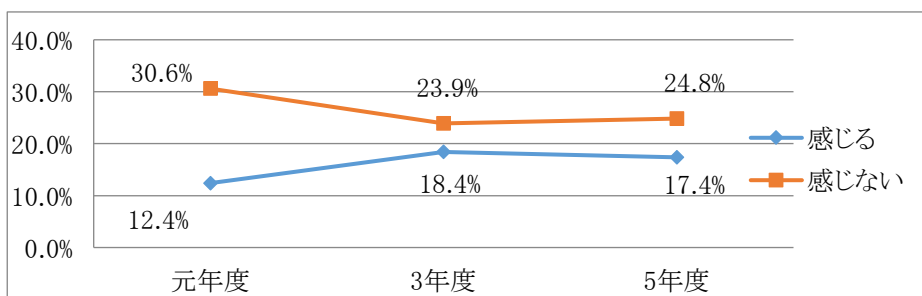
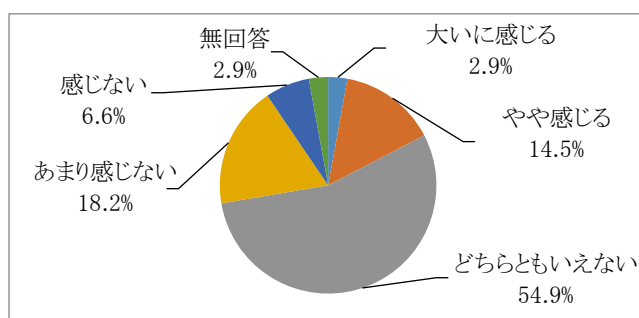
	回答数	構成比
大いに感じる	140	13.8%
やや感じる	470	46.5%
どちらともいえない	284	28.1%
あまり感じない	65	6.4%
感じない	29	2.9%
無回答	24	2.3%
計	1,012	100.0%



## 6. 桐生市は消費者のための情報提供や相談体制が十分に整っている

「大いに感じる」(2.9%)と「やや感じる」(14.5%)の合計は17.4%と市民実感度が前回調査時の18.4%から1.0ポイント減少しており、「感じない」(6.6%)と「あまり感じない」(18.2%)の合計24.8%を7.4ポイント下回っている。

	回答数	構成比
大いに感じる	29	2.9%
やや感じる	147	14.5%
どちらともいえない	556	54.9%
あまり感じない	184	18.2%
感じない	67	6.6%
無回答	29	2.9%
計	1,012	100.0%

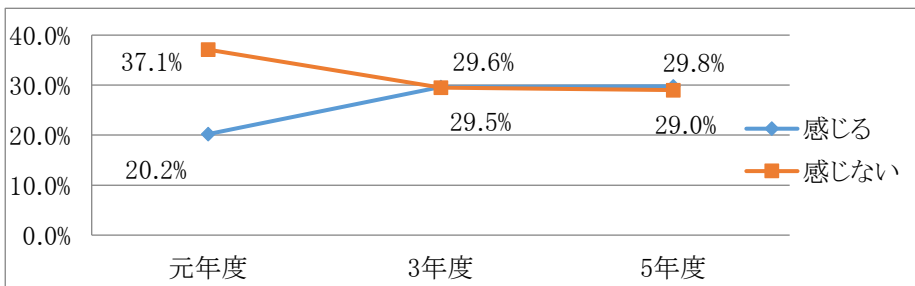
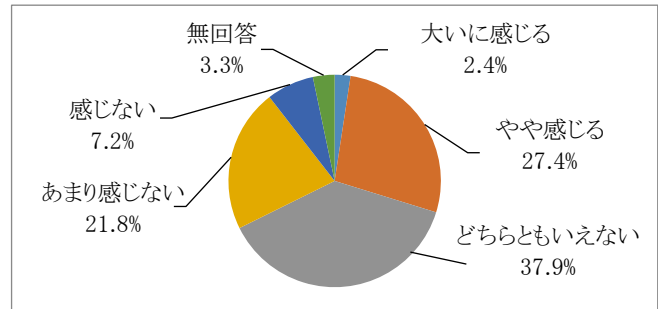


## 5. 都市基盤の整備（都市基盤）

### 1. 桐生市は地域の特性を踏まえた、良好な景観のあるまちづくりができています

「大いに感じる」(2.4%)と「やや感じる」(27.4%)の合計は29.8%と市民実感度が前回調査時の29.6%から0.2ポイント増加しており、「感じない」(7.2%)と「あまり感じない」(21.8%)の合計29.0%を0.8ポイント上回っている。

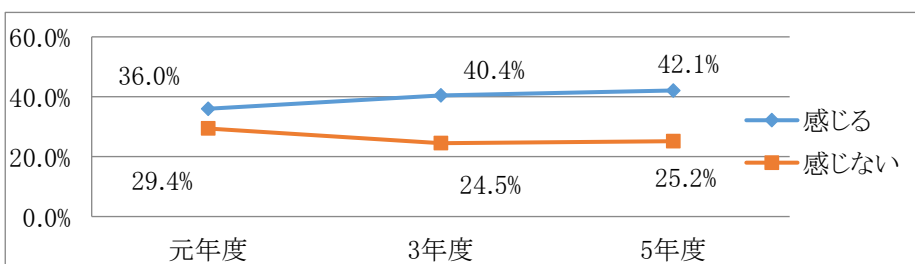
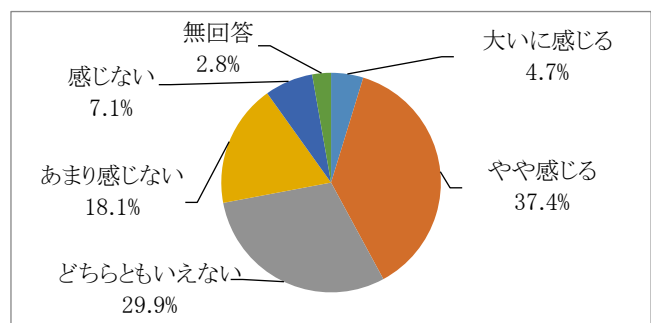
	回答数	構成比
大いに感じる	25	2.4%
やや感じる	277	27.4%
どちらともいえない	384	37.9%
あまり感じない	220	21.8%
感じない	73	7.2%
無回答	33	3.3%
計	1,012	100.0%



### 2. 桐生市は重伝建地区をはじめとする歴史的まち並みを生かしたまちづくりが進んでいる

「大いに感じる」(4.7%)と「やや感じる」(37.4%)の合計は42.1%と市民実感度が前回調査時の40.4%から1.7ポイント増加しており、「感じない」(7.1%)と「あまり感じない」(18.1%)の合計25.2%を16.9ポイント上回っている。

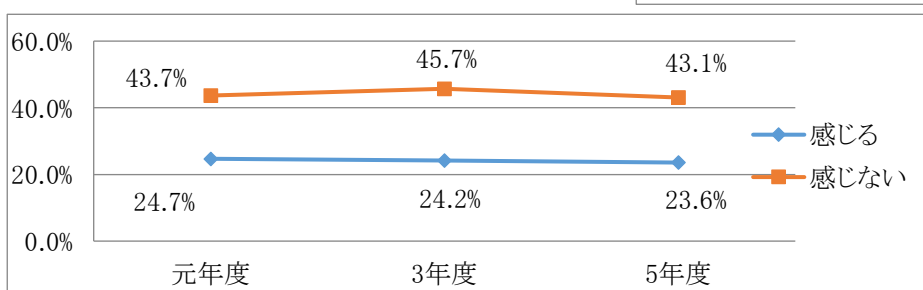
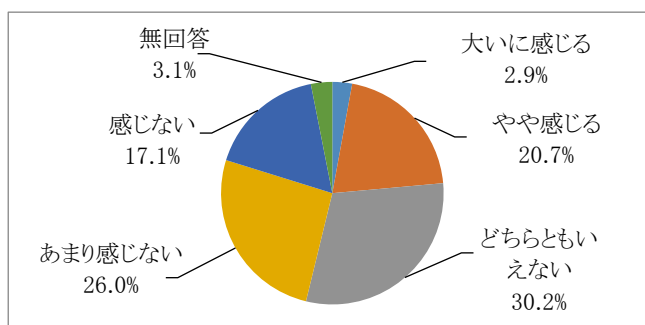
	回答数	構成比
大いに感じる	48	4.7%
やや感じる	378	37.4%
どちらともいえない	303	29.9%
あまり感じない	183	18.1%
感じない	72	7.1%
無回答	28	2.8%
計	1,012	100.0%



### 3. 桐生市は市中心部や周辺都市へ快適にアクセスできる道路網が整っている

「大いに感じる」(2.9%)と「やや感じる」(20.7%)の合計は23.6%と市民実感が前回調査時の24.2%から0.6ポイント減少しており、「感じない」(17.1%)と「あまり感じない」(26.0%)の合計43.1%を19.5ポイント下回っている。

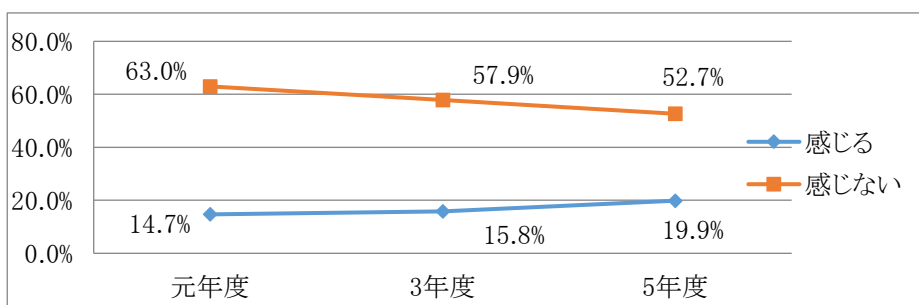
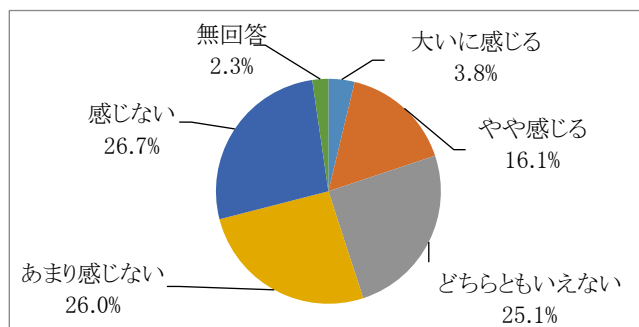
	回答数	構成比
大いに感じる	29	2.9%
やや感じる	210	20.7%
どちらともいえない	306	30.2%
あまり感じない	263	26.0%
感じない	173	17.1%
無回答	31	3.1%
計	1,012	100.0%



### 4. お住まいの地区の公共交通（鉄道やバス）は利便性が良い

「大いに感じる」(3.8%)と「やや感じる」(16.1%)の合計は19.9%と市民実感が前回調査時の15.8%から4.1ポイント増加しているが、「感じない」(26.7%)と「あまり感じない」(26.0%)の合計52.7%を32.8ポイント下回っている。

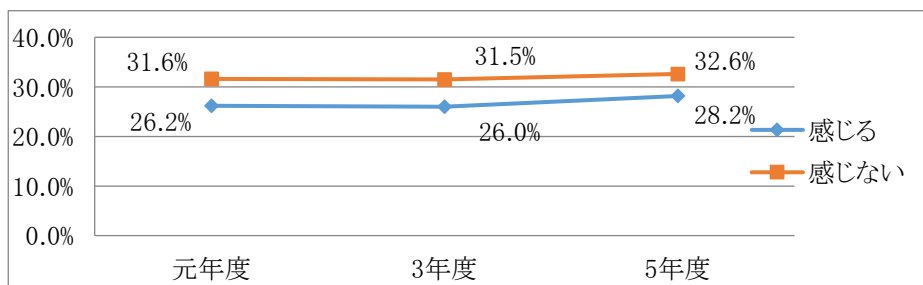
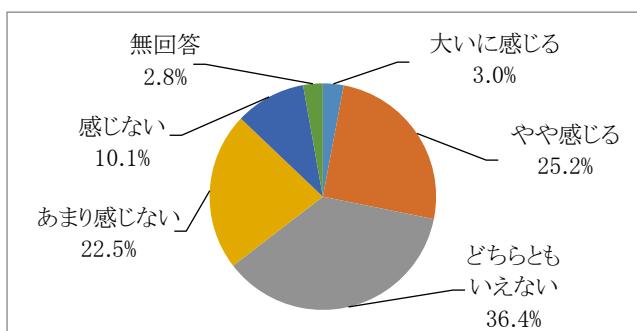
	回答数	構成比
大いに感じる	38	3.8%
やや感じる	163	16.1%
どちらともいえない	254	25.1%
あまり感じない	263	26.0%
感じない	270	26.7%
無回答	24	2.3%
計	1,012	100.0%



## 5. 桐生市は住み続けたいくなる生活の場としての住環境が整っている

「大いに感じる」(3.0%)と「やや感じる」(25.2%)の合計は28.2%と市民実感度が前回調査時の26.0%から2.2ポイント増加しているが、「感じない」(10.1%)と「あまり感じない」(22.5%)の合計32.6%を4.4ポイント下回っている。

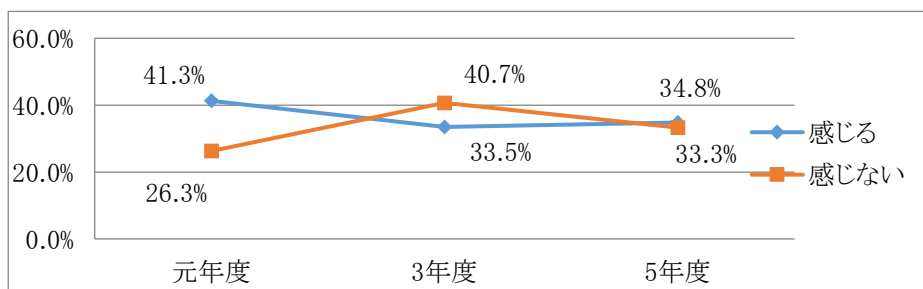
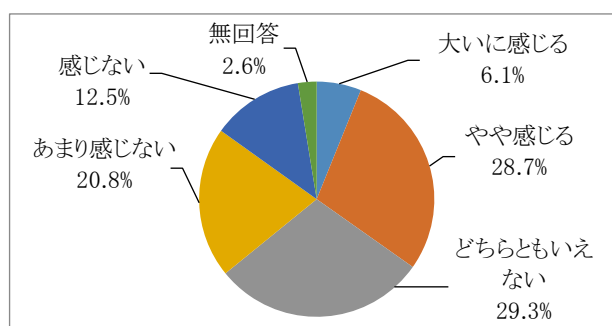
	回答数	構成比
大いに感じる	30	3.0%
やや感じる	255	25.2%
どちらともいえない	368	36.4%
あまり感じない	228	22.5%
感じない	102	10.1%
無回答	29	2.8%
計	1,012	100.0%



## 6. お住まいの地区には安全で快適に利用できる公園や、緑地が整備されている

「大いに感じる」(6.1%)と「やや感じる」(28.7%)の合計は34.8%と市民実感度が前回調査時の33.5%から1.3ポイント増加しており、「感じない」(12.5%)と「あまり感じない」(20.8%)の合計33.3%を1.5ポイント上回っている。

	回答数	構成比
大いに感じる	62	6.1%
やや感じる	290	28.7%
どちらともいえない	297	29.3%
あまり感じない	210	20.8%
感じない	127	12.5%
無回答	26	2.6%
計	1,012	100.0%

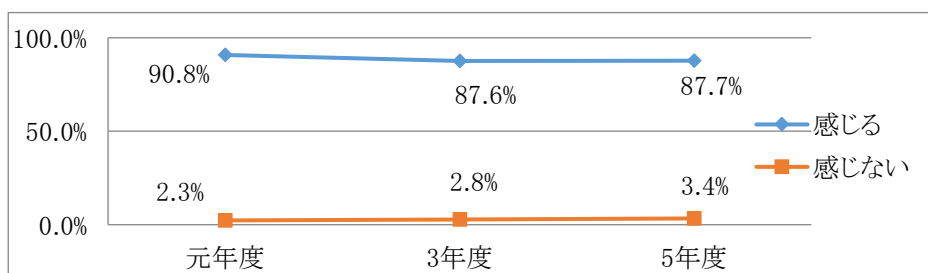
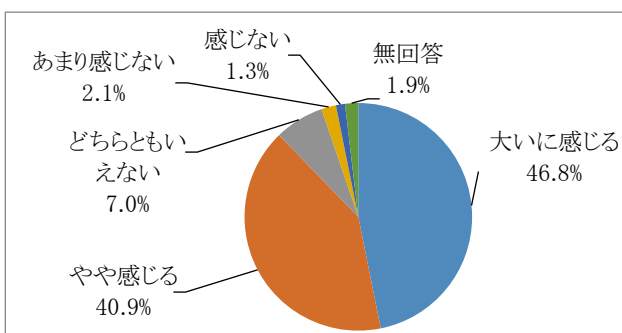




## 7. お住まいの地区はいつでも安心して水道が使える

「大いに感じる」(46.8%)と「やや感じる」(40.9%)の合計は87.7%と市民実感が前回調査時の87.6%から0.1ポイント増加しており、「感じない」(1.3%)と「あまり感じない」(2.1%)の合計3.4%を84.3ポイント上回っている。

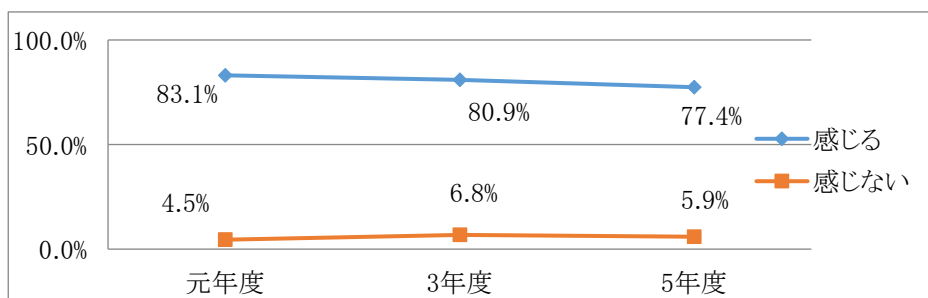
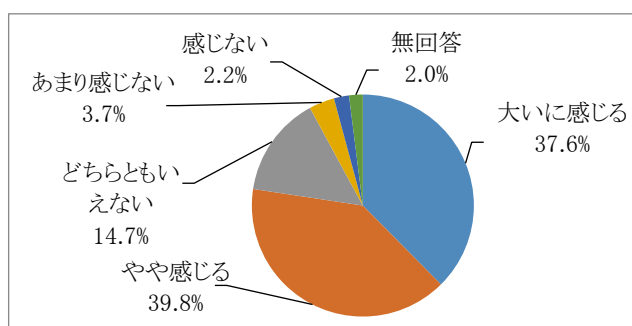
	回答数	構成比
大いに感じる	474	46.8%
やや感じる	414	40.9%
どちらともいえない	71	7.0%
あまり感じない	21	2.1%
感じない	13	1.3%
無回答	19	1.9%
計	1,012	100.0%



## 8. お住まいの地区では下水道の整備や各家庭での浄化槽設置などが進められ、快適に暮らすことができる

「大いに感じる」(37.6%)と「やや感じる」(39.8%)の合計は77.4%と市民実感が前回調査時の80.9%から3.5ポイント減少しているが、「感じない」(2.2%)と「あまり感じない」(3.7%)の合計5.9%を71.5ポイント上回っている。

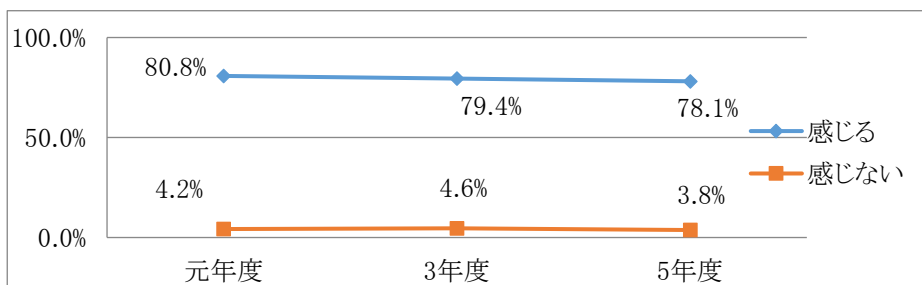
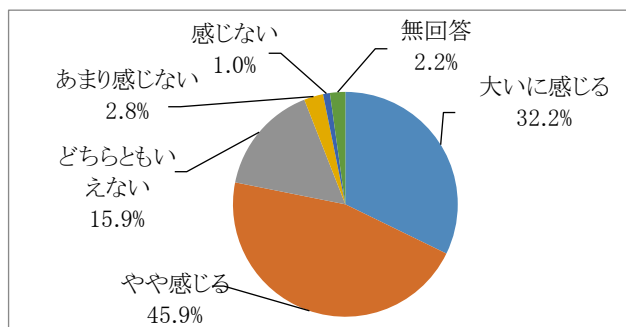
	回答数	構成比
大いに感じる	380	37.6%
やや感じる	403	39.8%
どちらともいえない	149	14.7%
あまり感じない	38	3.7%
感じない	22	2.2%
無回答	20	2.0%
計	1,012	100.0%



## 9. 桐生市の自然環境は良い

「大いに感じる」(32.2%)と「やや感じる」(45.9%)の合計は78.1%と市民実感度が前回調査時の79.4%から1.3ポイント減少しているが、「感じない」(1.0%)と「あまり感じない」(2.8%)の合計3.8%を74.3ポイント上回っている。

	回答数	構成比
大いに感じる	326	32.2%
やや感じる	464	45.9%
どちらともいえない	161	15.9%
あまり感じない	28	2.8%
感じない	10	1.0%
無回答	23	2.2%
計	1,012	100.0%

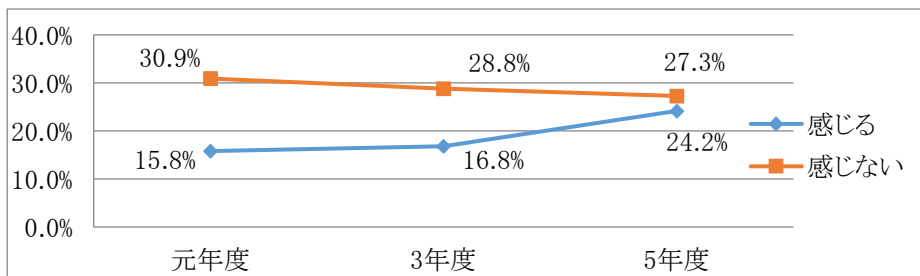
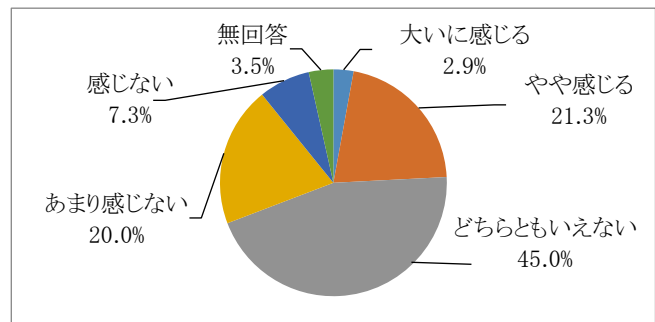


## 6. 計画推進のために（協働、行政運営）

### 1. 桐生市では地域の課題解決に市民と行政が協力して取り組んでいる

「大いに感じる」(2.9%)と「やや感じる」(21.3%)の合計は24.2%と市民実感度が前回調査時の16.8%から7.4ポイント増加しているが、「感じない」(7.3%)と「あまり感じない」(20.0%)の合計27.3%を3.1ポイント下回っている。

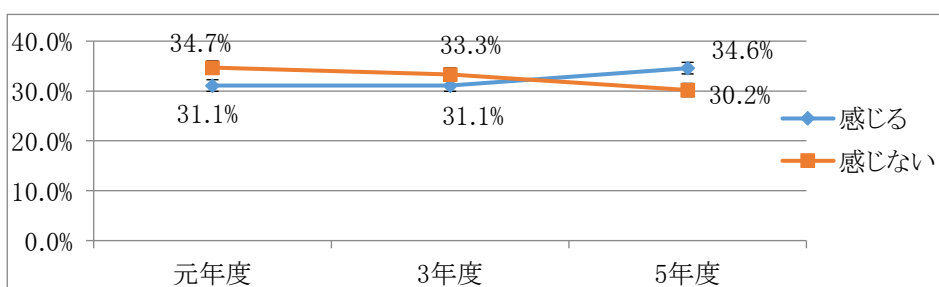
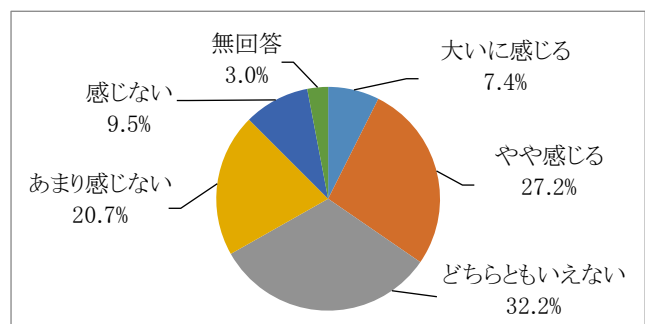
	回答数	構成比
大いに感じる	29	2.9%
やや感じる	216	21.3%
どちらともいえない	455	45.0%
あまり感じない	202	20.0%
感じない	74	7.3%
無回答	36	3.5%
計	1,012	100.0%



### 2. 自分は桐生市に対して、まちとしての価値や魅力を感じる

「大いに感じる」(7.4%)と「やや感じる」(27.2%)の合計は34.6%と市民実感度が前回調査時の31.1%から3.5ポイント増加しており、「感じない」(9.5%)と「あまり感じない」(20.7%)の合計30.2%を4.4ポイント上回っている。

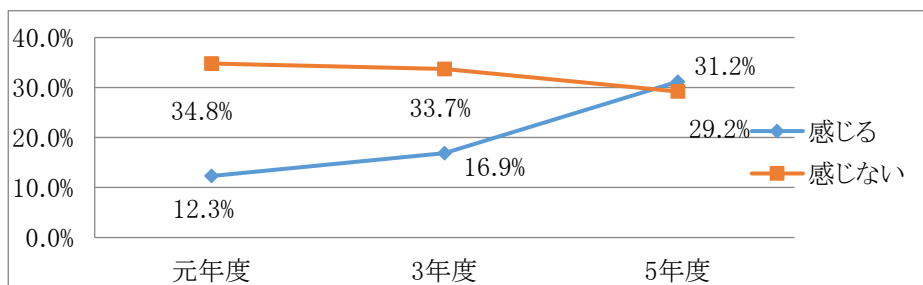
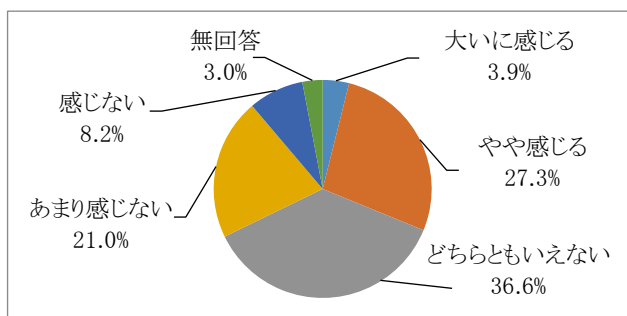
	回答数	構成比
大いに感じる	75	7.4%
やや感じる	275	27.2%
どちらともいえない	326	32.2%
あまり感じない	210	20.7%
感じない	96	9.5%
無回答	30	3.0%
計	1,012	100.0%



### 3. 桐生市は市民の声を適切に聴き取り、積極的に情報を発信している

「大いに感じる」(3.9%)と「やや感じる」(27.3%)の合計は31.2%と市民実感が前回調査時の16.9%から14.3ポイント増加しており、「感じない」(8.2%)と「あまり感じない」(21.0%)の合計29.2%を2.0ポイント上回っている。

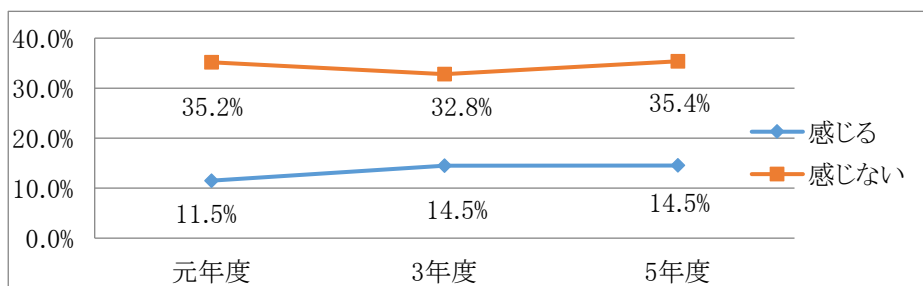
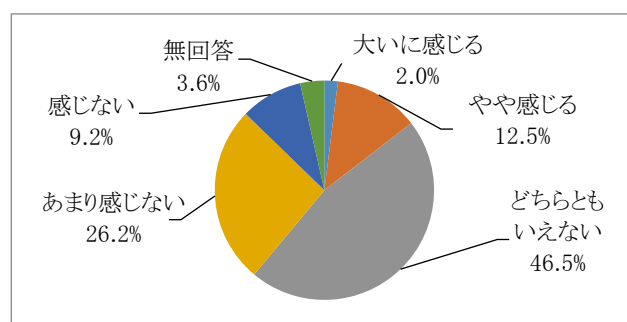
	回答数	構成比
大いに感じる	40	3.9%
やや感じる	276	27.3%
どちらともいえない	371	36.6%
あまり感じない	212	21.0%
感じない	83	8.2%
無回答	30	3.0%
計	1,012	100.0%



### 4. 桐生市は男女問わず誰もが家庭・職場・地域など、あらゆる場面で活躍できる環境が整っている

「大いに感じる」(2.0%)と「やや感じる」(12.5%)の合計は14.5%と市民実感が前回調査時の14.5%と同じになっているが、「感じない」(9.2%)と「あまり感じない」(26.2%)の合計35.4%を20.9ポイント下回っている。

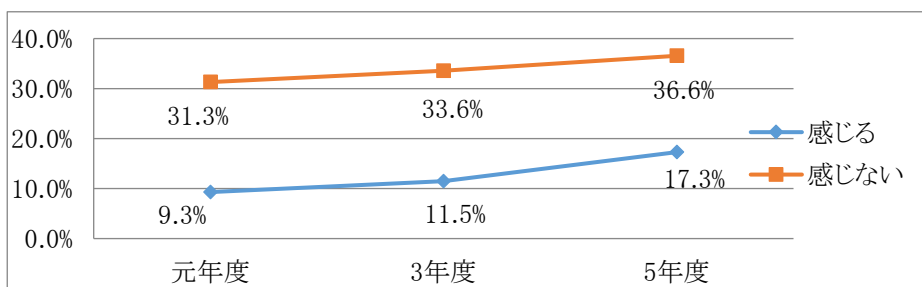
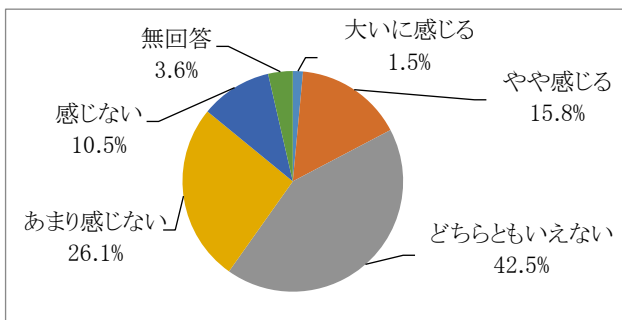
	回答数	構成比
大いに感じる	20	2.0%
やや感じる	127	12.5%
どちらともいえない	471	46.5%
あまり感じない	265	26.2%
感じない	93	9.2%
無回答	36	3.6%
計	1,012	100.0%



## 5. 桐生市は市民生活の利便性向上のために積極的に他の都市などと連携している

「大いに感じる」(1.5%)と「やや感じる」(15.8%)の合計は17.3%と市民実感度が前回調査時の11.5%から5.8ポイント増加しているが、「感じない」(10.5%)と「あまり感じない」(26.1%)の合計36.6%を19.3ポイント下回っている。

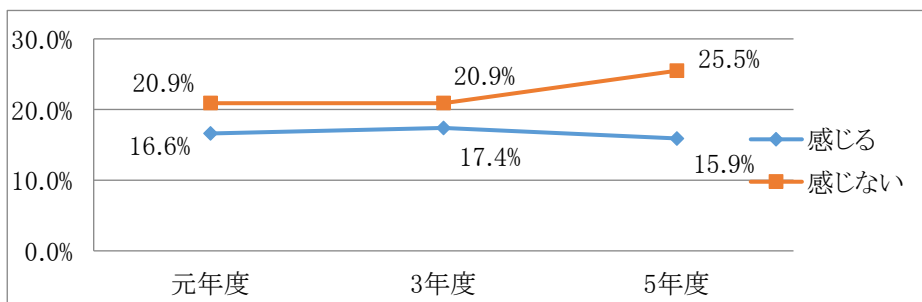
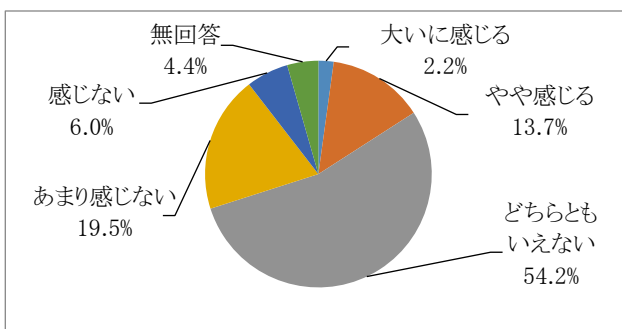
	回答数	構成比
大いに感じる	15	1.5%
やや感じる	160	15.8%
どちらともいえない	430	42.5%
あまり感じない	264	26.1%
感じない	106	10.5%
無回答	37	3.6%
計	1,012	100.0%



## 6. 桐生市は国籍や文化の異なる人々にとっても住みやすいまちである

「大いに感じる」(2.2%)と「やや感じる」(13.7%)の合計は15.9%と市民実感度が前回調査時の17.4%から1.5ポイント減少しており、「感じない」(6.0%)と「あまり感じない」(19.5%)の合計25.5%を9.6ポイント下回っている。

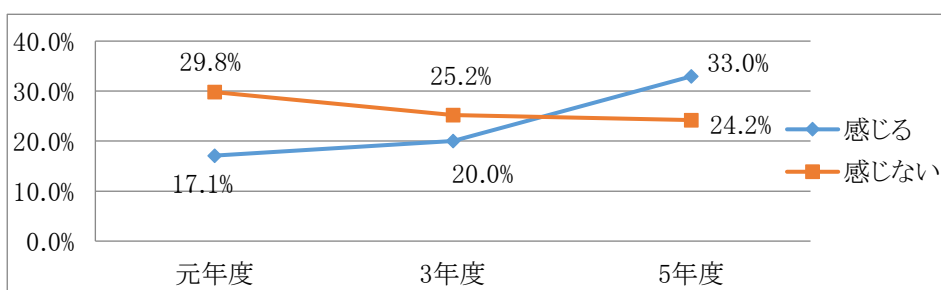
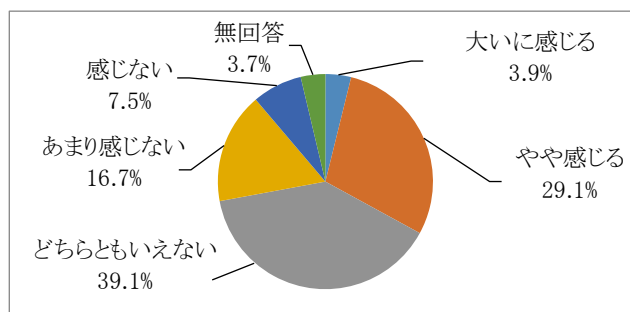
	回答数	構成比
大いに感じる	22	2.2%
やや感じる	139	13.7%
どちらともいえない	548	54.2%
あまり感じない	197	19.5%
感じない	61	6.0%
無回答	45	4.4%
計	1,012	100.0%



## 7. 桐生市では効率的な行政運営が行われ、必要な行政サービスが提供されている

「大いに感じる」(3.9%)と「やや感じる」(29.1%)の合計は33.0%と市民実感度が前回調査時の20.0%から13.0ポイント増加しており、「感じない」(7.5%)と「あまり感じない」(16.7%)の合計24.2%を8.8ポイント上回っている。

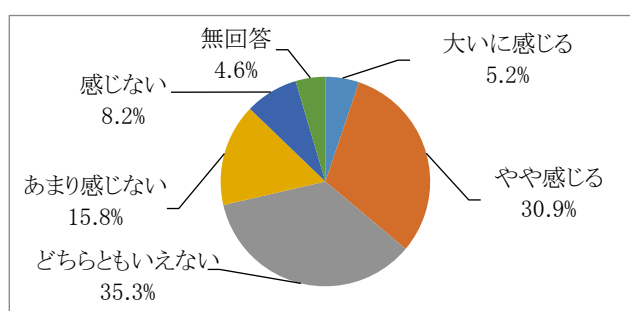
	回答数	構成比
大いに感じる	39	3.9%
やや感じる	295	29.1%
どちらともいえない	396	39.1%
あまり感じない	169	16.7%
感じない	76	7.5%
無回答	37	3.7%
計	1,012	100.0%



## 8. 桐生市ではデジタル化が推進されている【新規】

「大いに感じる」(5.2%)と「やや感じる」(30.9%)の合計は36.1%であり、「感じない」(8.2%)と「あまり感じない」(15.8%)の合計24.0%を12.1ポイント上回っている。

	回答数	構成比
大いに感じる	52	5.2%
やや感じる	313	30.9%
どちらともいえない	357	35.3%
あまり感じない	160	15.8%
感じない	83	8.2%
無回答	47	4.6%
計	1,012	100.0%

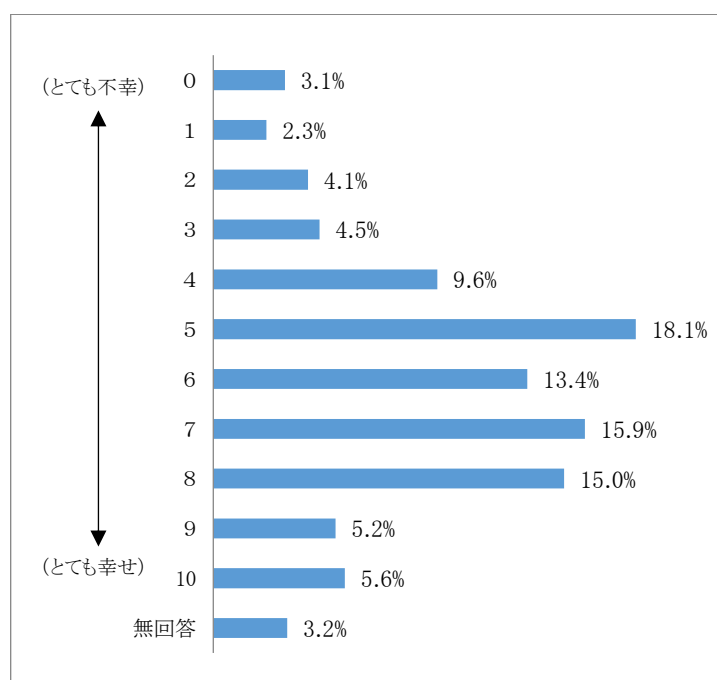


問8 現在、あなたはどの程度「幸せ」ですか。「とても幸せ」を10、「とても不幸」を0とすると、どのくらいになりますか。

0点から10点までの11段階で現在の幸福実感度をたずねたところ、中間点となる「5点」が18.1%と最も多く、次いで「7点」(15.9%)、「8点」(15.0%)、「6点」(13.4%)と続いている。無回答を除いた全体の平均は5.87点となっており、前回調査結果である6.36点と比べると0.49点減少している。この理由とすると、今回の調査結果においては、「0点」から「5点」と回答した人の合計が41.7%であったが、前回の調査結果よりも5.4ポイント増加している。また、「6点」から「10点」と回答した人の合計が55.1%であり、前回の調査結果よりも6ポイント減少したことなどが影響していると思われる。

なお、今回の調査結果では、中間点(5点)より上の点数である6点以上が55.1%と全体の約5割以上となっており、一方、中間点(5点)より下の点数である4点以下が23.6%と全体の約2割弱となっている。

	点数	回答数	構成比
①	0	31	3.1%
②	1	23	2.3%
③	2	41	4.1%
④	3	46	4.5%
⑤	4	97	9.6%
⑥	5	183	18.1%
⑦	6	136	13.4%
⑧	7	161	15.9%
⑨	8	152	15.0%
⑩	9	53	5.2%
⑪	10	57	5.6%
⑫	無回答	32	3.2%
	計	1,012	100.0%

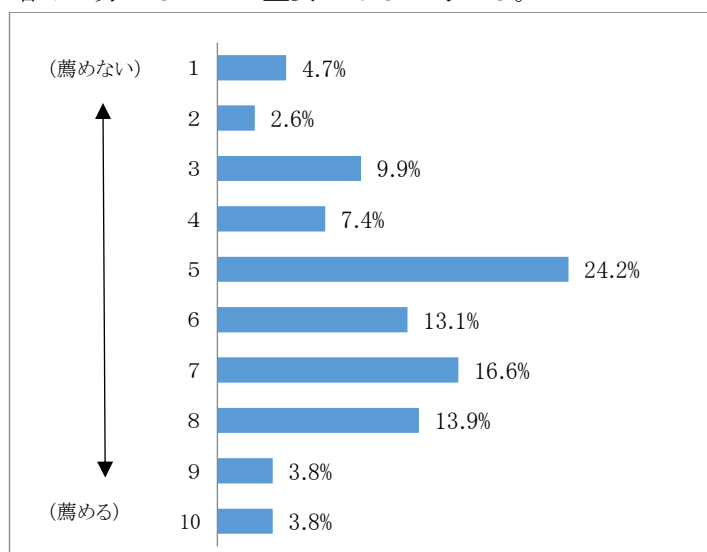


問9 あなたは桐生市に対する考えを聞かれたときに、次の項目についてどのくらい桐生市を薦めますか。

#### <住む場として>

10段階の評価について、「1~4」を「薦めない」、「5~6」を「どちらでもない」、「7~10」を「薦める」として捉えると、無回答を除く回答者の割合は、「薦めない」が24.6%、「どちらでもない」が37.3%、「薦める」が38.1%となった。なお、無回答を除く回答者の平均値は5.7ポイントとなった。今後は、「薦めない」の低減とともに、「薦める」の増加に努めることが重要であるとする。

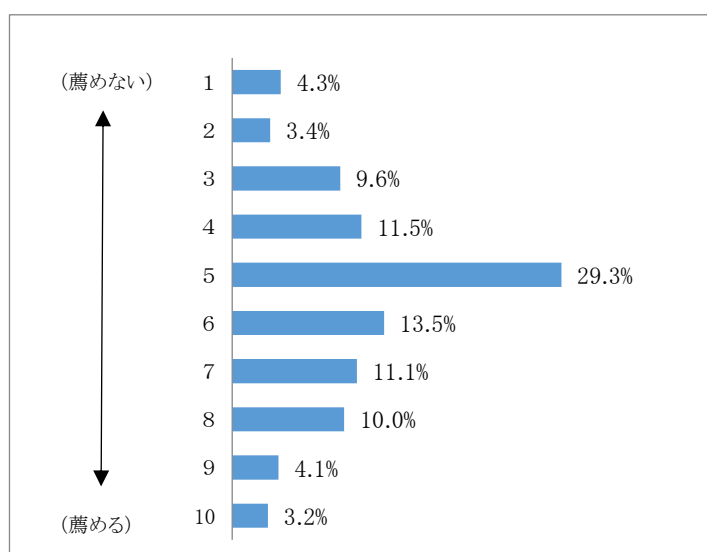
	評価点	回答数	構成比 (無回答を除く)
①	1	46	4.7%
②	2	25	2.6%
③	3	96	9.9%
④	4	72	7.4%
⑤	5	234	24.2%
⑥	6	127	13.1%
⑦	7	161	16.6%
⑧	8	134	13.9%
⑨	9	37	3.8%
⑩	10	37	3.8%
	無回答	43	
	計	1,012	100.0%



#### <訪れる場として>

10段階の評価について、「1~4」を「薦めない」、「5~6」を「どちらでもない」、「7~10」を「薦める」として捉えると、無回答を除く回答者の割合は、「薦めない」が28.8%、「どちらでもない」42.8%、「薦める」が28.4%となった。なお、無回答を除く回答者の平均値は5.4ポイントとなった。今後は、「薦めない」の低減とともに、「薦める」の増加に努めることが重要であるとする。

	評価点	回答数	構成比 (無回答を除く)
①	1	42	4.3%
②	2	33	3.4%
③	3	94	9.6%
④	4	112	11.5%
⑤	5	285	29.3%
⑥	6	132	13.5%
⑦	7	108	11.1%
⑧	8	97	10.0%
⑨	9	40	4.1%
⑩	10	31	3.2%
	無回答	38	
	計	1,012	100.0%





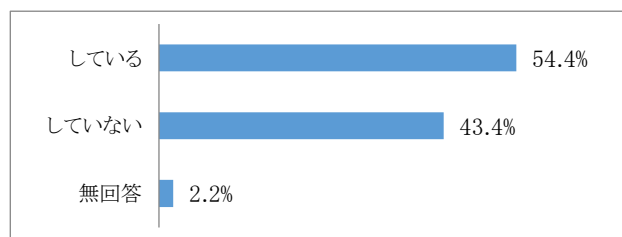
## 生涯を通じた健康づくりについて

(健康長寿課)

問 10 継続的に運動（散歩やラジオ体操など、意識して体を動かすこと）をしていますか。

「している」が54.4%と半数を超えており、前回の53.0%を上回っている。これは、コロナ禍により様々な活動に影響があった中でも社会的な環境に左右されず、運動習慣の定着が図れている人の割合と考えられる。健康寿命の延伸には運動の継続が必要であるため、今後も更なる推進をしていきたい。

		回答数	構成比
①	している	551	54.4%
②	していない	439	43.4%
③	無回答	22	2.2%
	計	1,012	100.0%



## 地域医療について

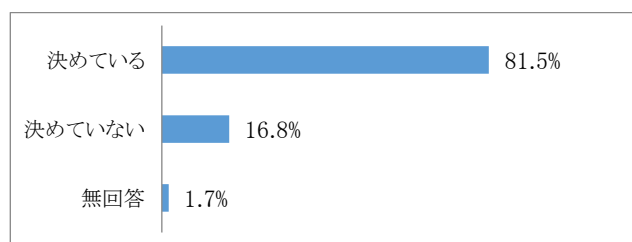
(地域医療感染症対策室)

問 11 かかりつけ医（歯科医を含む）を決めていますか。

「決めている」が81.5%、「決めていない」が16.8%という結果になり、「決めている」と回答した方の割合が前回よりも1.7ポイント減少しているものの、多くの市民がかかりつけ医（歯科医を含む）を決めているという結果となった。

健康寿命の延伸を推進するうえで、普段から自身の体について気軽に相談できる医療機関を決めておくことは重要なことであるため、今後もかかりつけ医（歯科医含む）を持つことの必要性を啓発していく。

		回答数	構成比
①	決めている	825	81.5%
②	決めていない	170	16.8%
③	無回答	17	1.7%
	計	1,012	100.0%

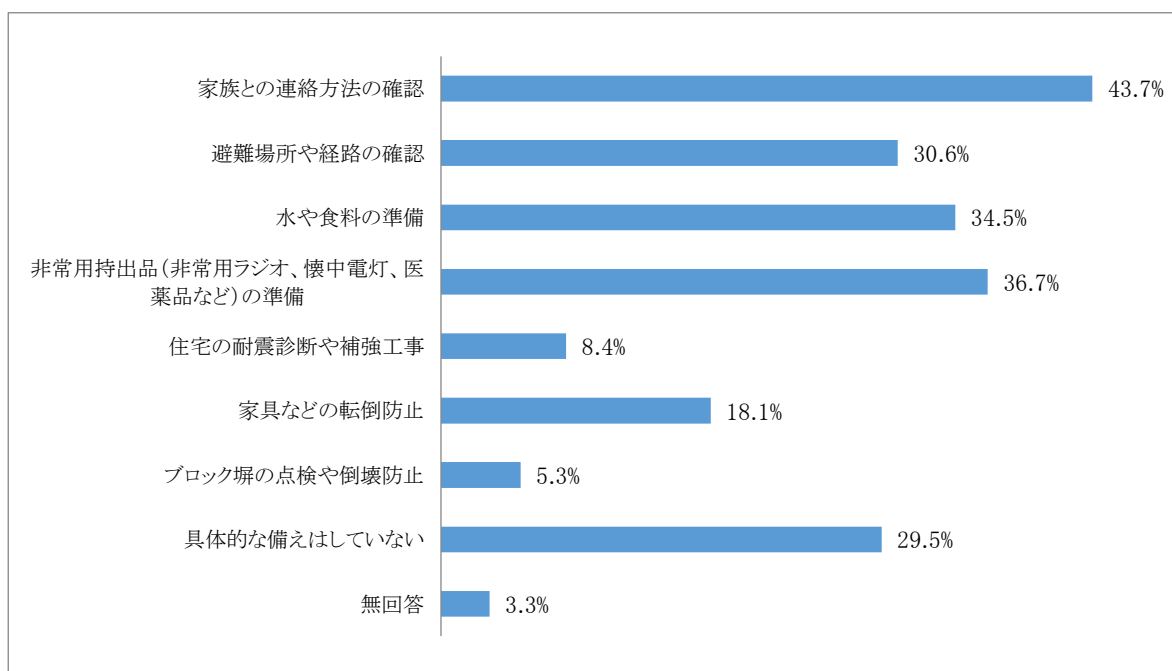


問 12 日頃から、どのような備えをしていますか。(複数回答可)

「具体的な備えはしていない」(29.5%)と「無回答」(3.3%)を除き、最も多かった回答は「家族との連絡方法の確認」(43.7%)で、最も少なかった回答は「ブロック塀の点検や倒壊防止」(5.3%)であった。自力で行うことができる確認や準備は、専門業者を必要とするものに比べて回答割合が高い傾向にある。今後も防災教育や防災知識の普及など、様々な機会を捉えて啓発を続け、各家庭における防災意識の高揚に努めていく必要がある。

		回答数	回答率
①	家族との連絡方法の確認	442	43.7%
②	避難場所や経路の確認	310	30.6%
③	水や食料の準備	349	34.5%
④	非常用持出品(非常用ラジオ、懐中電灯、医薬品など)の準備	371	36.7%
⑤	住宅の耐震診断や補強工事	85	8.4%
⑥	家具などの転倒防止	183	18.1%
⑦	ブロック塀の点検や倒壊防止	54	5.3%
⑧	具体的な備えはしていない	299	29.5%
⑨	無回答	33	3.3%

※回答率=回答数÷回答者総数(1,012人)

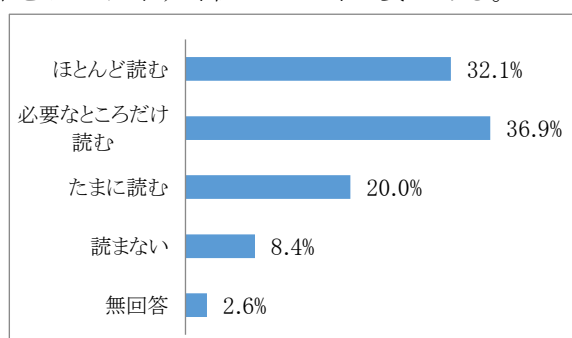


問 13 広報きりゅうを読んでいますか。

広報きりゅうを「ほとんど読む」(32.1%)と「必要なところだけ読む」(36.9%)、「たまに読む」(20.0%)を合計すると 89.0%と、多くの方が市政情報を得るための手段として広報きりゅうを活用していることがわかる。

今回の調査から市政情報を得るために広報きりゅうが有効に活用されていると考えられるが、今後も引き続き広報きりゅうの内容の充実を図り、市民の求める情報をわかりやすく伝えていく必要がある。

		回答数	構成比
①	ほとんど読む	325	32.1%
②	必要なところだけ読む	374	36.9%
③	たまに読む	202	20.0%
④	読まない	85	8.4%
⑤	無回答	26	2.6%
	計	1,012	100.0%

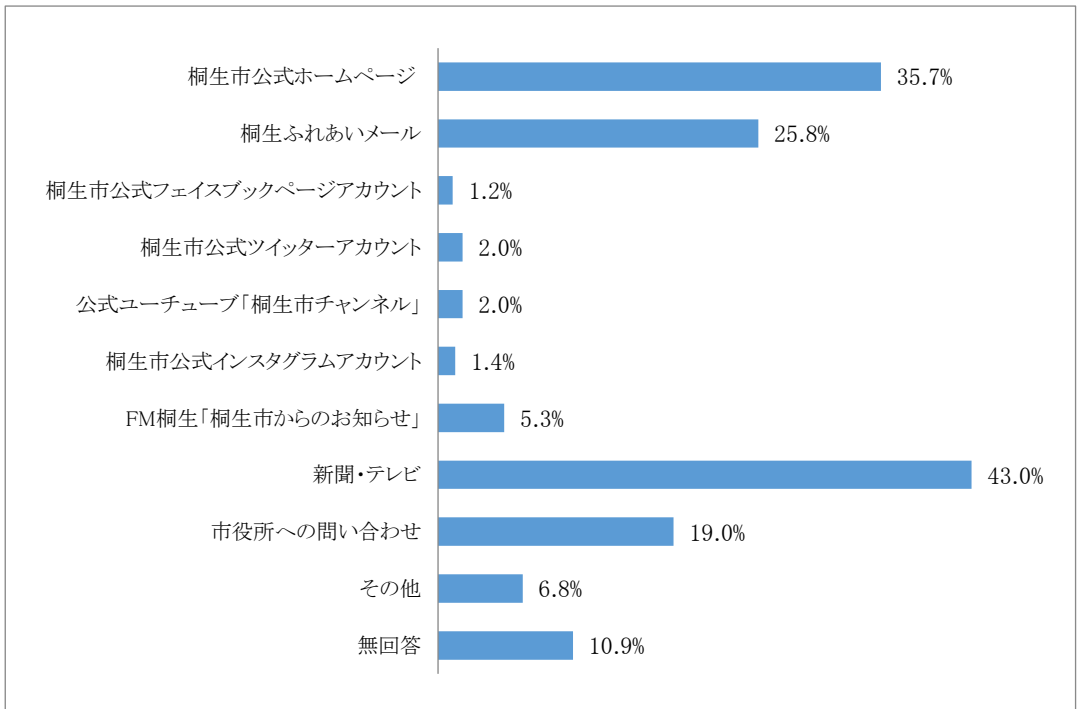


問 14 市からの情報を得る手段として、広報きりゅう以外に何を利用していますか。

広報紙以外にも様々な媒体から情報を得ていることがわかった。回答者の 4 割以上の方が新聞やテレビ、3 割以上の方が公式ホームページ、2 割以上の方がふれあいメールを利用していることがわかり、今後は、各媒体の内容充実により一層努めるとともに、市民が求める情報をよりわかりやすく、適切なタイミングで伝えられるよう運用を図りたい。

		回答数	回答率
①	桐生市公式ホームページ	361	35.7%
②	桐生ふれあいメール	261	25.8%
③	桐生市公式フェイスブックページアカウント	12	1.2%
④	桐生市公式ツイッターアカウント	20	2.0%
⑤	公式ユーチューブ「桐生市チャンネル」	20	2.0%
⑥	桐生市公式インスタグラムアカウント	14	1.4%
⑦	FM桐生「桐生市からのお知らせ」	54	5.3%
⑧	新聞・テレビ	435	43.0%
⑨	市役所への問い合わせ	192	19.0%
⑩	その他	69	6.8%
⑪	無回答	110	10.9%

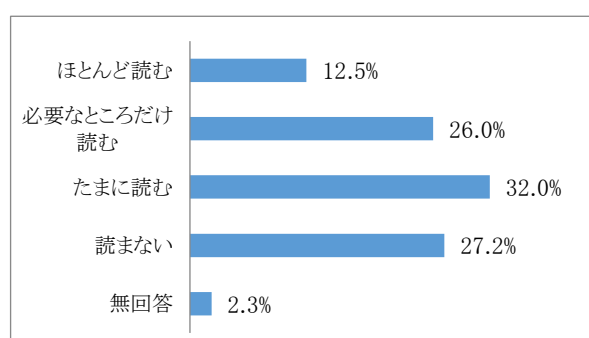
※回答率=回答数÷回答者総数 (1,012 人)



問 15 きりゅう市議会だよりを読んでいますか。

「たまに読む」が 32.0%と最も多く、さらに「必要なところだけ読む」(26.0%)と「ほとんど読む」(12.5%)を合わせると 70.5%であり、前回調査と比較して 0.3 ポイント減少した。また、「読まない」が 27.2%であり、前回調査と比較して、0.3 ポイント増加した。令和 3 年 2 月 1 日号の大幅リニューアル後も、文字数をできるだけ少なくし、写真を多く取り入れるなど見やすい紙面づくりを心掛けてきたが、「読まない」人に読んでもらうまでには至っていない。今後については、表紙や裏表紙のデザインや構成を重点に、さらなる見やすい紙面づくりを研究していく必要がある。

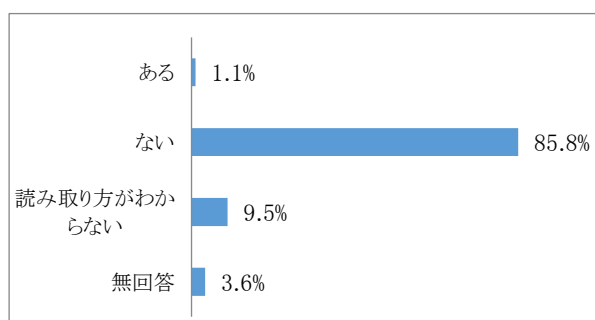
		回答数	構成比
①	ほとんど読む	126	12.5%
②	必要なところだけ読む	263	26.0%
③	たまに読む	324	32.0%
④	読まない	275	27.2%
⑤	無回答	24	2.3%
	計	1,012	100.0%



問 16 きりゅう市議会だよりに掲載されている二次元コードを読み取ったことがありますか。

「ない」が 85.8%を占め、「読み取り方がわからない」(9.5%)と合わせると 95.3%となり、前回調査と比較して 5.2 ポイント増加した。前回のアンケート結果を分析した結果、二次元コードが浸透していないと考えられたため、毎号に二次元コードの読み取り方を掲載してきたが、効果が見られなかった。問 15 の結果より、「議会だよりを読んだことがある」割合は 7 割を超えているにも関わらず、「二次元コードを読み取ったことがない」が 85.8%であることから、まだ周知が不足していると考えられる。今後については、読み取り方がわからない方のために、読み取り方の掲載を引き続きわかりやすく行い、一人でも多くの方に二次元コードを読み取ってもらうために、内容に興味を持ってもらえるような紙面づくりを研究していく必要がある。

		回答数	構成比
①	ある	11	1.1%
②	ない	868	85.8%
③	読み取り方がわからない	96	9.5%
④	無回答	37	3.6%
	計	1,012	100.0%



## 問 17 日常の移動手段には何を利用していますか。(複数回答可)

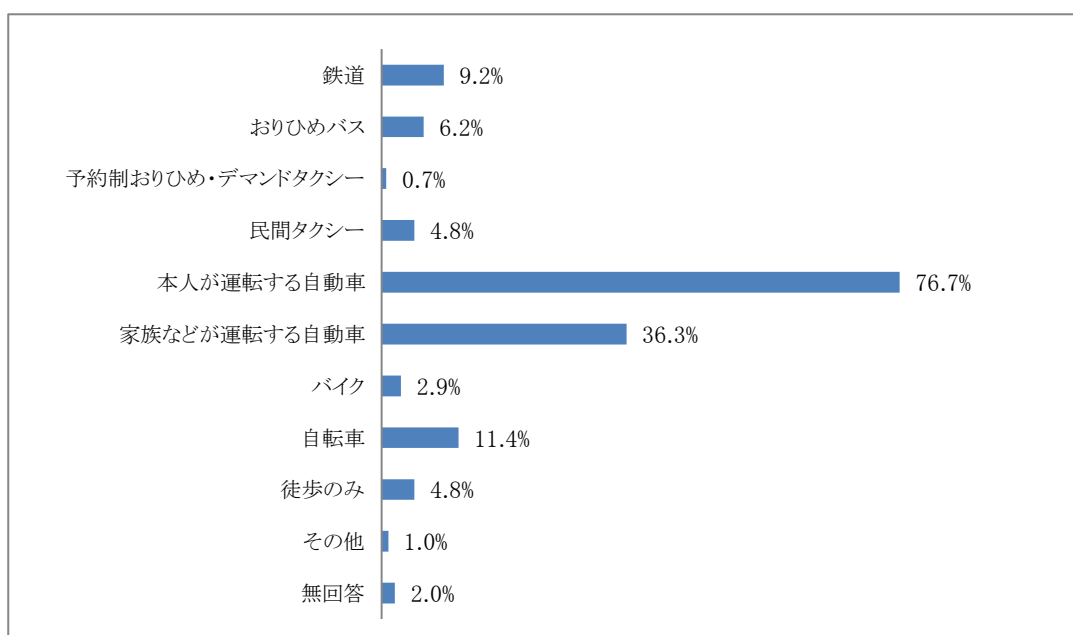
「本人が運転する自動車」が 76.7%で最も多く、次いで「家族などが運転する自動車」が 36.3%で、多くの回答者が日常の移動手段として自家用車を利用している。

公共交通の利用者は、「鉄道」が 9.2%、「おりひめバス」が 6.2%で、前回からそれぞれ 1.7 ポイント、1.6 ポイント増加しており、わずかだが需要増の傾向にある。

また、「予約制おりひめ・デマンドタクシー」は、前回と同じ 0.7%であり、周知不足や利用しづらさが懸念される。

		回答数	回答率
①	鉄道	93	9.2%
②	おりひめバス	63	6.2%
③	予約制おりひめ・デマンドタクシー	7	0.7%
④	民間タクシー	49	4.8%
⑤	本人が運転する自動車	776	76.7%
⑥	家族などが運転する自動車	367	36.3%
⑦	バイク	29	2.9%
⑧	自転車	115	11.4%
⑨	徒歩のみ	49	4.8%
⑩	その他	10	1.0%
⑪	無回答	20	2.0%

※回答率＝回答数÷回答者総数（1,012人）



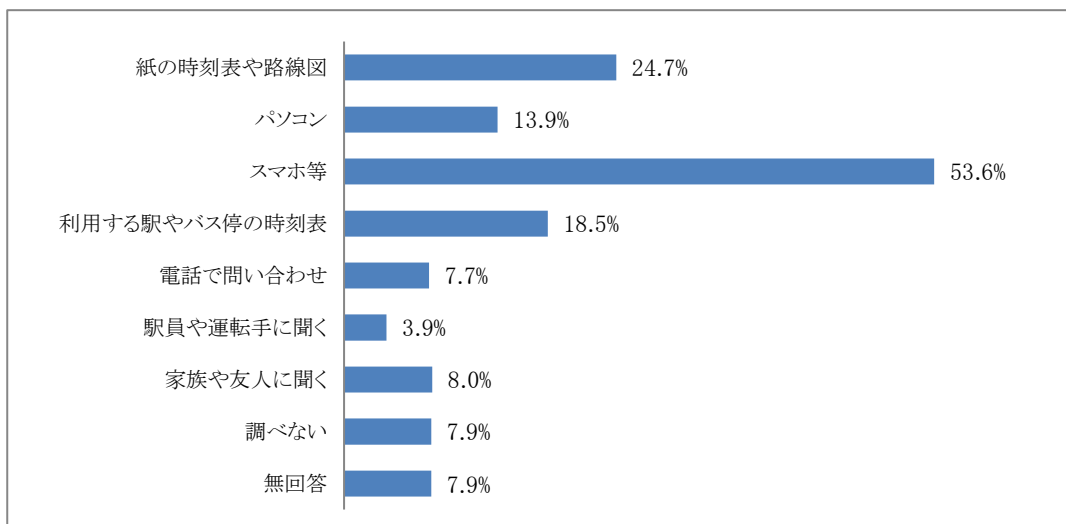
問 18 公共交通を利用する際、時刻や路線はどのように調べますか。(複数回答可)

「スマートフォン等」が 53.6%で最も多く、回答者の半数以上が利用している。一方で、約 1/4 の回答者が紙や掲示物等で運行情報を調べている。

今後、運行情報に関する利便性の向上を図る際には、利用者の多いインターネットを用いた方法の拡充を検討しつつ、従来の方法も継続させていく必要がある。

		回答数	回答率
①	紙の時刻表や路線図	250	24.7%
②	パソコン	141	13.9%
③	スマートフォン等	542	53.6%
④	利用する駅やバス停の時刻表	187	18.5%
⑤	電話で問い合わせ	78	7.7%
⑥	駅員や運転手に聞く	39	3.9%
⑦	家族や友人に聞く	81	8.0%
⑧	調べない	80	7.9%
⑨	無回答	80	7.9%

※回答率＝回答数÷回答者総数（1,012 人）



問 19 人口減少や高齢化が進むなか、移動手段としてマイカー以外にあったらいいなと思うものは何ですか。(複数回答可)【新規】

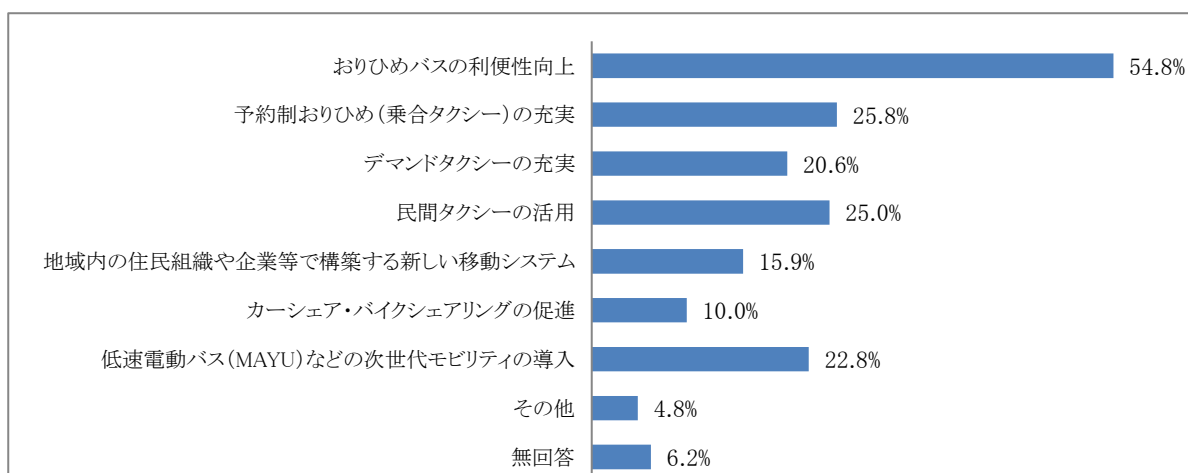
「おりひめバスの利便性向上」が 54.8%で最も多く、次いで「予約制おりひめ（乗合タクシー）の充実」が 25.8%で、多くの回答者が公共交通に期待していることが伺える。

「民間タクシーの利用」は 25.0%、「低速電動バス（MAYU）などの次世代モビリティの導入」は 22.8%と、それぞれ 2 割以上が期待を寄せており、多様な移動手段を公共交通に取り入れることについて一定程度の関心があることが伺える。

その反面、「地域内の住民組織や企業等で構築する新しい移動システム」は 15.9%、「カーシェア・バイクシェアリングの促進」は 10.0%にとどまり、マイカー以外の移動手段を市民自らが取り入れ、移動しようとする事への関心が低いことが伺える。

		回答数	回答率
①	おりひめバスの利便性向上	555	54.8%
②	予約制おりひめ（乗合タクシー）の充実	261	25.8%
③	デマンドタクシーの充実	208	20.6%
④	民間タクシーの活用	253	25.0%
⑤	地域内の住民組織や企業等で構築する新しい移動システム	161	15.9%
⑥	カーシェア・バイクシェアリングの促進	101	10.0%
⑦	低速電動バス（MAYU）などの次世代モビリティの導入	231	22.8%
⑧	その他	49	4.8%
⑨	無回答	63	6.2%

※回答率＝回答数÷回答者総数（1,012 人）





## 問 20 SDGsを知っていますか。

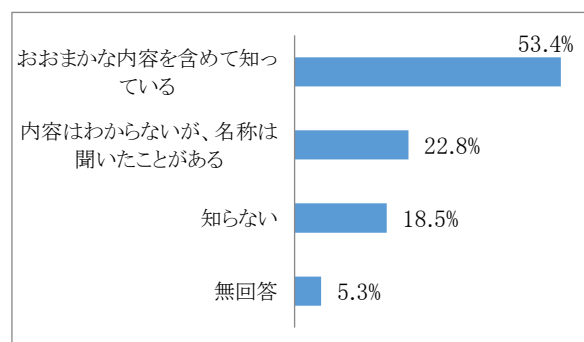
SDGsという言葉の認知率は76.2%で、前回（第24回）のアンケートで「知っている」と回答した47.9%と比較して28.3ポイント増加し、この2年間で認知率が大きく増加したことが分かった。

また、「内容を含めて知っている」と回答した割合も53.4%と過半数を占めており、市民への内容理解の浸透も進んでいることが分かった。

近年、メディアなどでSDGsが取り上げられる機会が増えていることに加え、今年5月には内閣府から本市が「SDGs未来都市」に選定されたことで、SDGsという言葉が身近になってきているものと考えられる。本市としても、SDGsに関する情報発信のほか、市民にSDGsを楽しく理解してもらうためのイベントやワークショップの開催、市職員が分かりやすくSDGsを解説する出前講座、SDGs達成に向けた桐生市の取組集の発行、及びSDGs啓発動画の配信など、SDGsの普及促進に向けた各種の取組を継続的に行っているところであり、その成果が今回の数字に表れたものと考えられる。

SDGsの目標達成には、市民一人ひとりがSDGsを意識して行動することが重要であることから、その第一歩としてSDGsへの理解をより一層深めてもらうため、今後も引き続き積極的な啓発等に努めていくことが必要であると考えられる。

		回答数	構成比
①	おおまかな内容を含めて知っている	540	53.4%
②	内容はわからないが、名称は聞いたことがある	231	22.8%
③	知らない	187	18.5%
④	無回答	54	5.3%
	計	1,012	100.0%



## 問 21 次の①から⑧までの行動はSDGsの推進に役立つものとされています。あなたが日頃心掛けている行動は何ですか。（複数回答可）

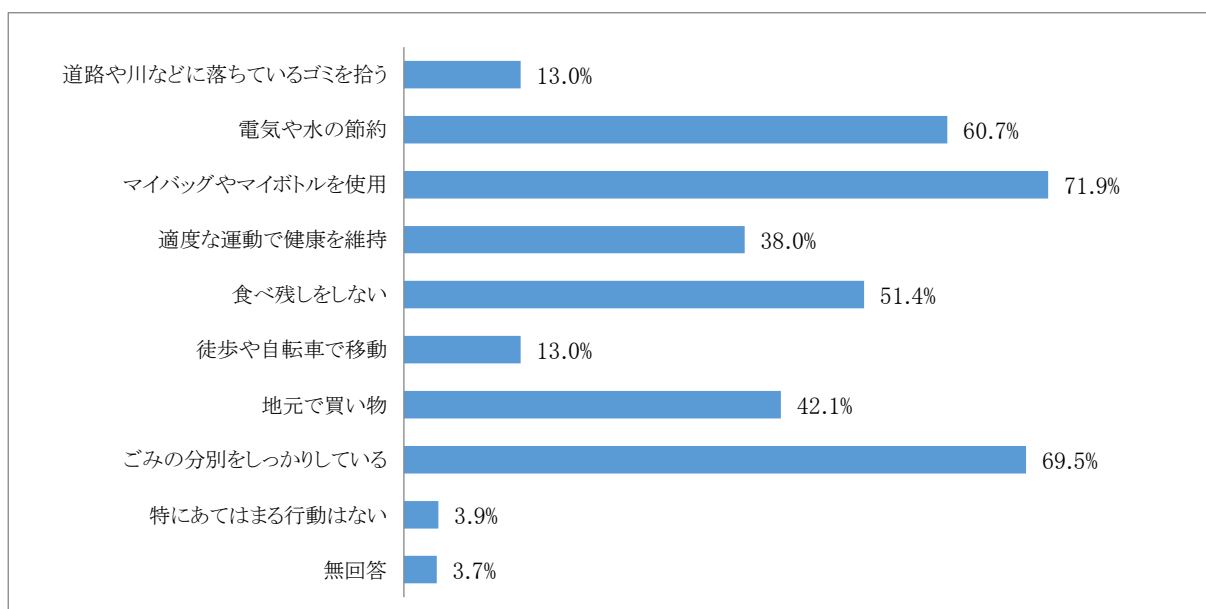
問20に回答した1,012人について、SDGsを知っているかどうかに関わらず、ほとんどの人は、既にSDGsの達成に資する何らかの行動を一つ以上行っていることが分かった。

また、今回の結果と前回の結果と比較すると、多少の増減はあるものの、各項目における回答数の傾向は全く変わっていない。すなわち、マイバッグ利用やごみの分別、食べ残しゼロといった、日常生活の中で比較的簡単に行える行動は半数以上の人が既に行っている一方で、地元での買い物や運動といった、意識をやや高く持たなければ行動が喚起されないものについては半数を割り、徒歩・自転車での移動やごみを拾うといった、意識を特に高く持たなければ喚起されない行動をとる人の数は極端に少ない。

以上のことと問 20 の結果を合わせて見ると、前回のアンケート調査からの 2 年間で、SDG s の認知率は大きく増加したが、SDG s を自分事と捉えて行動に移すまでには至っていない人がほとんどであることが分かる。SDG s の観点から見ると、これらの行動は、意識の高い一部の人だけが行うのではなく、市民一人ひとりが実行することが重要と言える。一人ひとりの SDG s への理解度を高め、SDG s を意識した行動を実行できる市民の割合も高めていくために、今後、SDG s を自分事として考えられるような、より一層の啓発等に努めることが必要であると考えられる。

		回答数	回答率
①	道路や川などに落ちているゴミを拾う	132	13.0%
②	電気や水の節約	614	60.7%
③	マイバッグやマイボトルを使用	728	71.9%
④	適度な運動で健康を維持	385	38.0%
⑤	食べ残しをしない	520	51.4%
⑥	徒歩や自転車で移動	132	13.0%
⑦	地元で買い物	426	42.1%
⑧	ごみの分別をしっかりとっている	703	69.5%
⑨	特にあてはまる行動はない	39	3.9%
⑩	無回答	37	3.7%

※回答率＝回答数÷回答者総数（1,012 人）



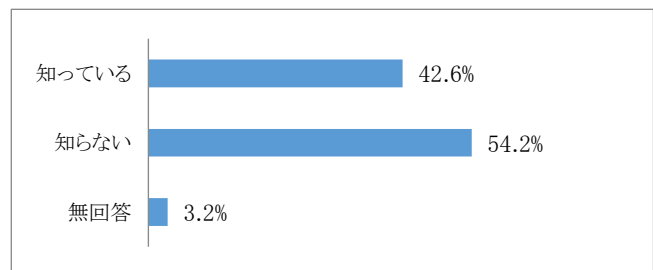
問 22 桐生市に「日本遺産（「かかあ天下 - ぐんまの絹物語 - 」）」があることを知っていますか。

日本遺産の市民認知度については、「知らない」が半数以上を占め、「知っている」を10%以上上回る結果となった。前回調査結果と比較しても、調査結果の傾向に変わりはなく、ほぼ同様のものであり、依然として、日本遺産の市民認知度が低いことが顕著に表れている。

前回調査以降、令和4年7月に市民向けの周知用チラシやポスターなどを作成し、市民認知度向上のために周知の強化を図っているが、配布後に一定の成果が見え始めているものの、現時点においては顕著な成果に結びついていない状況である。

「市内に日本遺産がある」ということが十分に浸透していないことから、今後も各イベント等での周知などを通じて、継続してより一層の周知に努めていく必要がある。

		回答数	構成比
①	知っている	431	42.6%
②	知らない	548	54.2%
③	無回答	33	3.2%
	計	1,012	100.0%

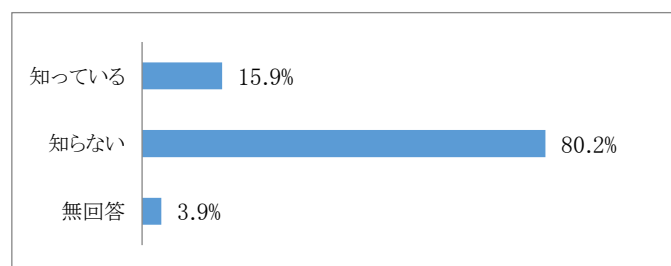


問 23 日本遺産（「かかあ天下 - ぐんまの絹物語 - 」）」を構成する文化財13件のうち、約半数の6件が桐生市内にあることを知っていますか。

日本遺産構成文化財に関する認知度については、前回調査に比べ、「知っている」(15.9%)が0.8ポイント増え、「知らない」(80.2%)が1.2ポイント減少したが、「知らない」が「知っている」の5倍以上を占めている点は前回とほぼ同様の結果となった。

本設問は、問22と連動したものでもあるが、問22と同様、今後も継続して「日本遺産が市内にあること」と「構成文化財のほぼ半数の6件が市内にあること」を一体的に周知するとともに、効果的な周知を行う必要がある。

		回答数	構成比
①	知っている	161	15.9%
②	知らない	812	80.2%
③	無回答	39	3.9%
	計	1,012	100.0%



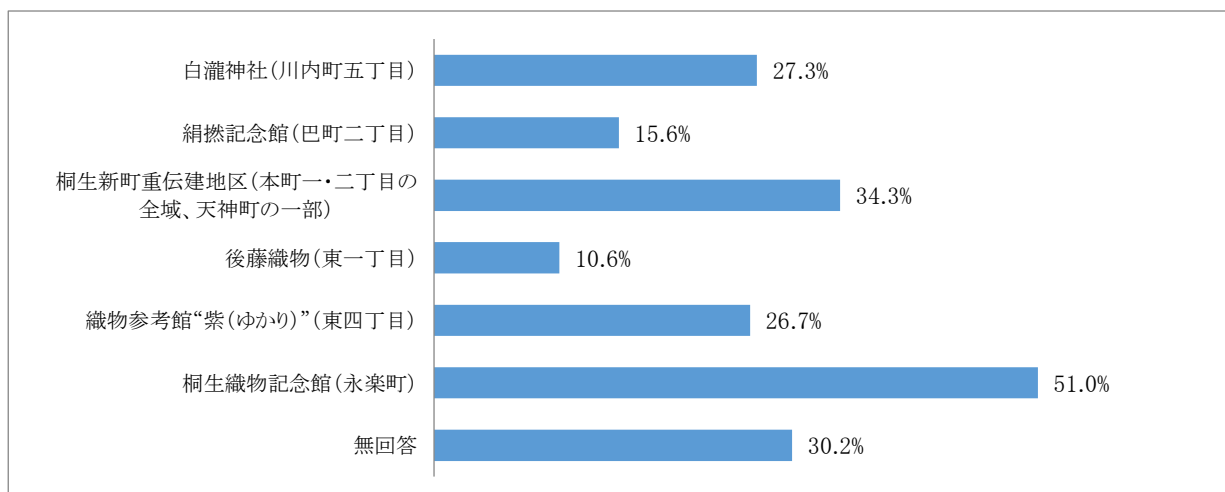
問 24 桐生市内にある、下記 6 件の「日本遺産（「かかあ天下 - ぐんまの絹物語 - 」）」の構成文化財を訪れたことがありますか。（複数回答可）

6 件の構成文化財のうち、白瀧神社を除いた構成文化財については、前回調査に比べ、実際に訪れた方の人数は増加している。この要因については、令和 3 年度以降、各構成文化財を巡るスタンプラリーを実施するなど、実際に訪れていただけるようなイベント等を設定したことなどであると考えられる。

今後も引き続き、市内に 6 件の構成文化財があることなどの周知を図るとともに、単に認知度の向上を図るだけでなく、実際に各構成文化財を訪れていただけるようなイベント等を開催するなど、より一層の周知に努めていく必要がある。

		回答数	回答率
①	白瀧神社（川内町五丁目）	276	27.3%
②	絹撚記念館（巴町二丁目）	158	15.6%
③	桐生新町重伝建地区（本町一・二丁目の全域、天神町の一部）	347	34.3%
④	後藤織物（東一丁目）	107	10.6%
⑤	織物参考館“紫（ゆかり）”（東四丁目）	270	26.7%
⑥	桐生織物記念館（永楽町）	516	51.0%
⑦	無回答	306	30.2%

※回答率＝回答数÷回答者総数（1,012 人）

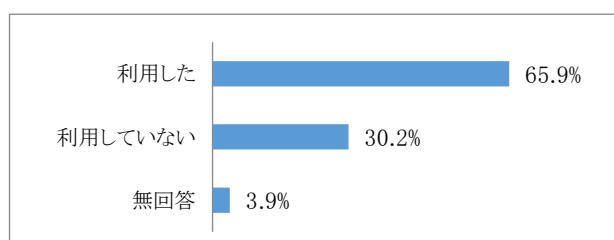


問 25 あなたは、過去1年間にインターネットを利用しましたか。

前回のアンケートと比較して、過去1年間にインターネットを「利用した」が65.3%から65.9%へ増加し、「利用していない」が31.5%から30.5%に減少している結果を見ると、高齢化率の高い桐生市においても、確実にデジタル技術を活用している人が増えていることが分かる。

行政手続のオンライン化及び地域社会のデジタル化を進めるうえで、デジタル技術の利用促進及び利用し易い環境整備を進めていく必要がある。

		回答数	構成比
①	利用した	667	65.9%
②	利用していない	306	30.2%
③	無回答	39	3.9%
	計	1,012	100.0%

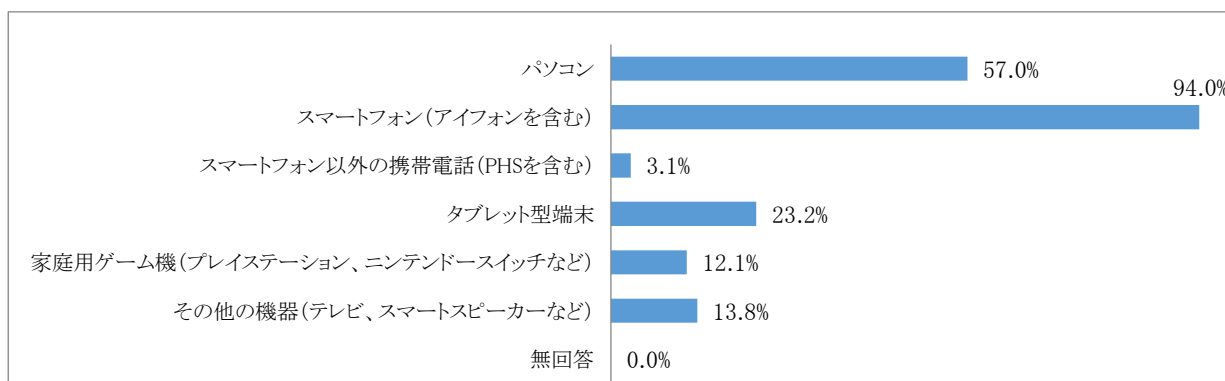


問 26 (問 25 で「①利用した」に○をつけた人) 保有しているか否かに関わらず、過去1年間にあなたがインターネットを利用した機器は何ですか。(複数回答可)

前回アンケートと同様に、「スマートフォン」(94.0%)の利用が最も多く、次いで「パソコン」(57.0%)、「タブレット型端末」(23.2%)と続いており、スマートフォンがインターネットを利用するにあたり、依然として最も身近な機器だということが分かる。

		回答数	回答率
①	パソコン	380	57.0%
②	スマートフォン ( 아이폰を含む)	627	94.0%
③	スマートフォン以外の携帯電話 (PHSを含む)	21	3.1%
④	タブレット型端末	155	23.2%
⑤	家庭用ゲーム機 (プレイステーション、ニンテンドースイッチなど)	81	12.1%
⑥	その他の機器 (テレビ、スマートスピーカーなど)	92	13.8%
⑦	無回答	0	0.0%

※回答率=回答数÷問 25 で「①利用した」に○をつけた数 (667 人)

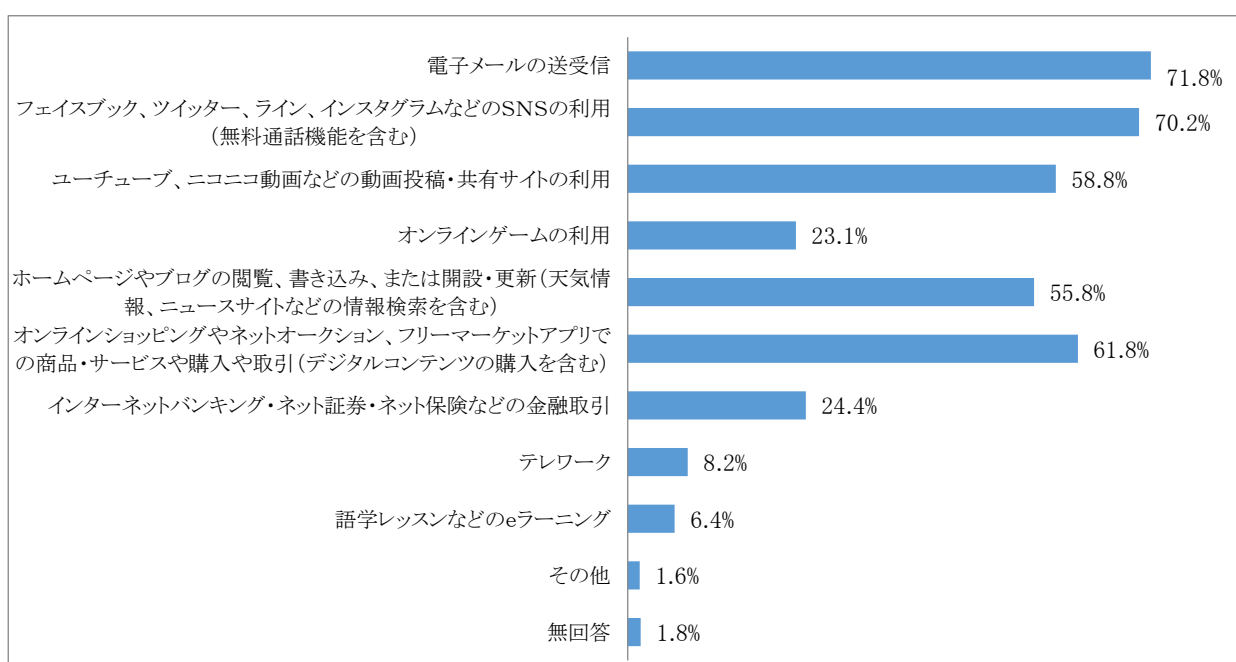


問 27 (問 25 で「①利用した」に○をつけた人) どのような目的でインターネットを利用しましたか。  
(複数回答可)

回答を頂いた 667 人のうち、「電子メールの送受信」(71.8%)、「フェイスブック、ツイッター、ライン、インスタグラムなどの SNS の利用」(70.2%) が同程度で上位になっており、その後にオンラインショッピングや動画投稿・共有サイト、ホームページ等の閲覧と続いている。上記回答の割合から、インターネットを利用しようとする人の目的は、おおよそ 5 つに分けられることが分かる。

		回答数	回答率
①	電子メールの送受信	479	71.8%
②	フェイスブック、ツイッター、ライン、インスタグラムなどの SNS の利用 (無料通話機能を含む)	468	70.2%
③	ユーチューブ、ニコニコ動画などの動画投稿・共有サイトの利用	392	58.8%
④	オンラインゲームの利用	154	23.1%
⑤	ホームページやブログの閲覧、書き込み、または開設・更新 (天気情報、ニュースサイトなどの情報検索を含む)	372	55.8%
⑥	オンラインショッピングやネットオークション、フリーマーケットアプリでの商品・サービスの購入や取引 (デジタルコンテンツの購入を含む)	412	61.8%
⑦	インターネットバンキング・ネット証券・ネット保険などの金融取引	163	24.4%
⑧	テレワーク	55	8.2%
⑨	語学レッスンなどの eラーニング	43	6.4%
⑩	その他	11	1.6%
⑪	無回答	12	1.8%

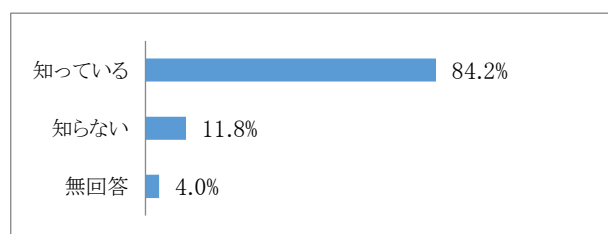
※回答率=回答数÷問 25 で「①利用した」に○をつけた数 (667 人)



## 問 28 桐ペイ（桐生市電子地域通貨）を知っていますか。【新規】

市民の桐ペイの認知度は80%を超えており、ほとんどの市民が桐ペイを知っていることが判った。

		回答数	構成比
①	知っている	852	84.2%
②	知らない	119	11.8%
③	無回答	41	4.0%
	計	1,012	100.0%

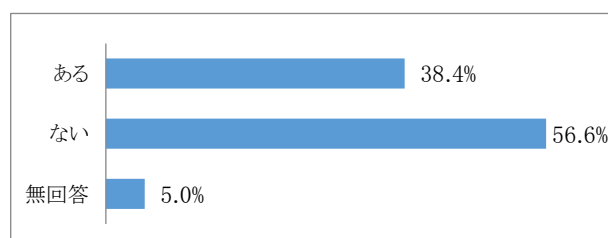


## 問 29 スマートフォンのアプリや専用カードを使って、桐ペイをチャージしたことはありますか。【新規】

80%を超える高い認知度を示している反面、実際にチャージしたことがある市民は、4割ほどに留まっており、チャージ行動に移していただくきっかけづくりを継続していく必要がある。

一方で、経済産業省では、2025年までに国におけるキャッシュレス決済比率を4割程度にするとの目標を掲げており、2022年の全国平均は36.0%に対し、桐ペイのチャージ利用率は38.4%となっており、全国的には平均的な利用となっている。

		回答数	構成比
①	ある	389	38.4%
②	ない	573	56.6%
③	無回答	50	5.0%
	計	1,012	100.0%



## 問 30 桐ペイに対してあなたが持つイメージで、当てはまるもの3つに○をつけてください。(複数回答可)【新規】

桐ペイに対するイメージとして「使いたいお店が少ない(35.7%)」が最も高い値を示しており、加盟店数を増やしていく取組は今後も継続していく必要がある。続いて、「お得感がある(33.2%)」、「桐生市にとって有益なものだ(31.9%)」、「現金を使わないので便利(31.7%)」と積極的なイメージを持っている回答が続いている。特に「現金を使わないので便利」との回答がイメージの上位に入ってきていることから、桐ペイをきっかけにキャッシュレス化が浸透していることをうかがわせるものであると考える。次回の市民アンケートにおいてこの点を、比較検証していきたい。

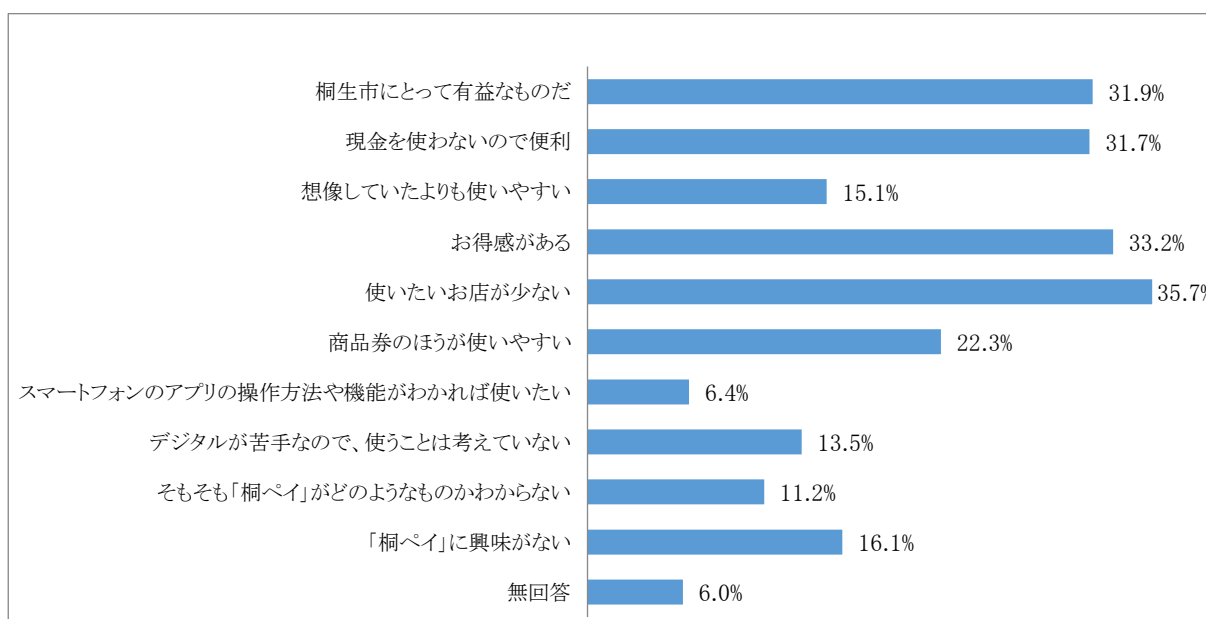
「桐生市にとって有益なものだ(31.9%)」が回答数の上位3番目に位置している。単にお得という点だけでなく、桐生市にとって価値のある施策であると認識し、桐ペイの趣旨に他のキャッシュレス決済

にはない価値を感じていただいている。これまでの桐ペイの情報発信の内容や方法に一定の効果があったと考えられる一方で、更なる効果的な情報発信を進めていく必要がある。

当初、設問を作成する際、「スマートフォンのアプリの操作方法や機能がわかれば使いたい」について、ある程度の回答があるものと考えていたが、6.4%の回答に留まっている。これについては、「商品券のほうが使いやすい」、「デジタルが苦手なので、使うことは考えていない」、「そもそも桐ペイがどのようなものかわからない」等の、デジタル化に対する拒否反応が存在していることを示しており、スマホアプリなどの機能の理解よりも前段階で難しさを感じてしまう市民が一定数いることが判った。

		回答数	回答率
①	桐生市にとって有益なものだ	323	31.9%
②	現金を使わないので便利	321	31.7%
③	想像していたよりも使いやすい	153	15.1%
④	お得感がある	336	33.2%
⑤	使いたいお店が少ない	361	35.7%
⑥	商品券のほうが使いやすい	226	22.3%
⑦	スマートフォンのアプリの操作方法や機能がわかれば使いたい	65	6.4%
⑧	デジタルが苦手なので、使うことは考えていない	137	13.5%
⑨	そもそも「桐ペイ」がどのようなものかわからない	113	11.2%
⑩	「桐ペイ」に興味がない	163	16.1%
⑪	無回答	61	6.0%

※回答率＝回答数÷回答者総数（1,012人）



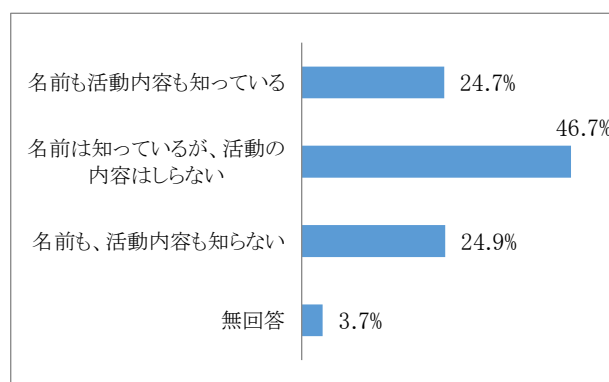


問 31 桐生市には、不審な電話やメール、悪質な訪問販売などの消費者トラブルに対応する「消費生活センター」がありますが、知っていますか。【新規】

「名前は知っているが、活動の内容は知らない」が46.7%で半数弱あった半面、「名前も活動も知っている」が24.7%、「名前も活動の内容も知らない」が24.9%と、ほぼ同数であった。消費生活センターの認知度だけを見ると約7割の人が知っているが、どのようなことを行っている場所なのか、その活動内容が知られていないと考えられる。

平成8年に設置され今年で27年目を迎えることから、活動内容までを含め、消費生活センターの名前の周知を図るとともに、周知啓発などを通じてその活動内容の周知にも努めていきたい。

		回答数	構成比
①	名前も活動内容も知っている	250	24.7%
②	名前は知っているが、活動の内容は知らない	473	46.7%
③	名前も、活動の内容も知らない	252	24.9%
④	無回答	37	3.7%
	計	1,012	100.0%



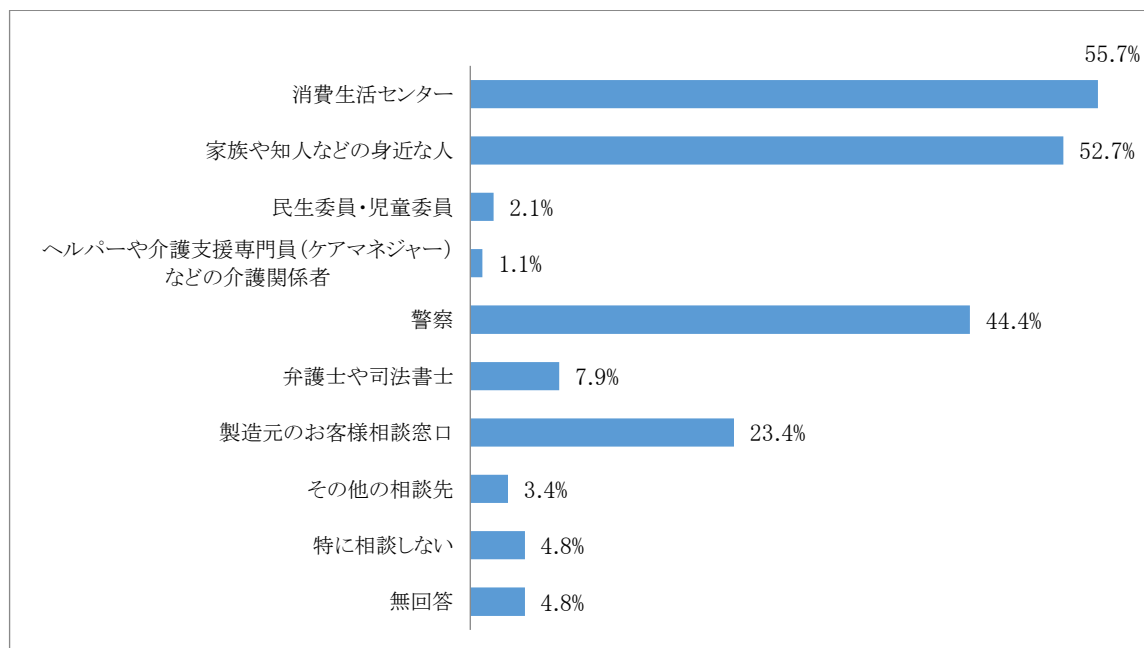
問 32 契約や通信販売でのトラブルなど、消費者トラブルにあったときに、どこに相談しようと思いますか。(複数回答可)【新規】

割合を見ると、1番が「消費生活センター」、2番が「家族や知人」、3番が「警察」と、順当な相談先となっていると考えられる。反対に、「民生委員・児童委員」や「ヘルパーなどの介護関係者」が少なかったことから、高齢者へ向けた啓発先として、今後は福祉関係との協働に力を入れていくことも必要であると感じた。

今後も、何かあったときに当事者だけで解決しようとせず、できるだけ周りに相談することや、相談先として「消費生活センター」が力になれるということについて、継続して周知していく必要があると考える。

		回答数	回答率
①	消費生活センター	564	55.7%
②	家族や知人などの身近な人	533	52.7%
③	民生委員・児童委員	21	2.1%
④	ヘルパーや介護支援専門員（ケアマネジャー）などの介護関係者	11	1.1%
⑤	警察	449	44.4%
⑥	弁護士や司法書士	80	7.9%
⑦	製造元のお客様相談窓口	237	23.4%
⑧	その他の相談先	34	3.4%
⑨	特に相談しない	49	4.8%
⑩	無回答	49	4.8%

※回答率＝回答数÷回答者総数（1,012人）

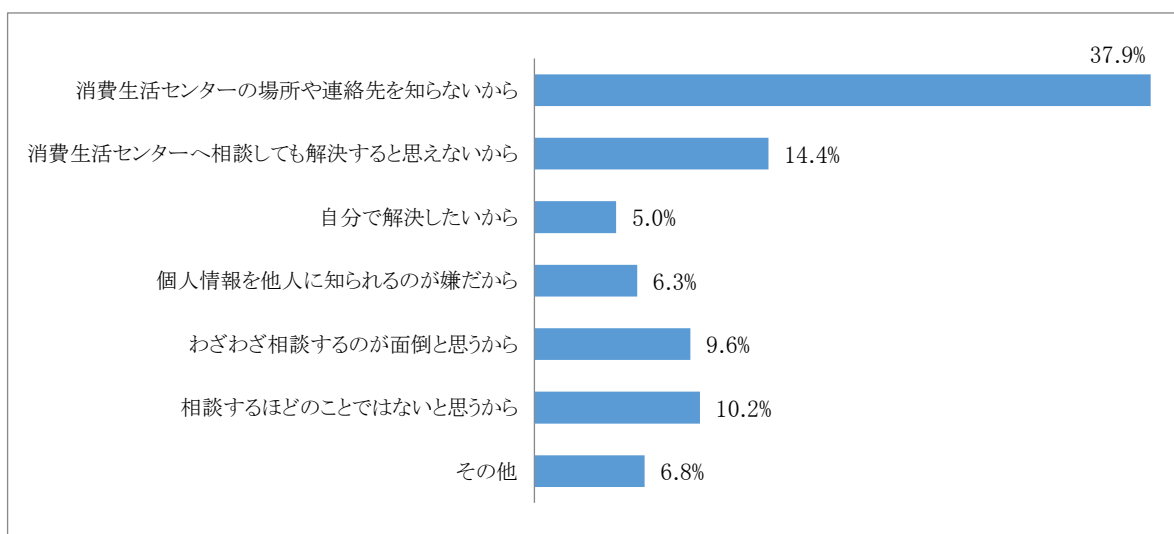


問 33 問 32 で、「②から⑨に○をつけた人」にお聞きします。消費者トラブルがあったときに、消費生活センターへ相談しないと考える理由は何ですか。（複数回答可）【新規】

消費生活センターへ相談しないことの理由の一番が「場所や連絡先を知らないから」で、約 4 割の回答があったことから、連絡先のさらなる周知が必要と思われる。電話番号は、警察などと違い一般的な番号のため、啓発事業において回数を重ねながら、常に連絡先を身近に見てもらえるような周知方法の工夫が必要である。

		回答数	回答率
①	消費生活センターの場所や連絡先を知らないから	324	37.9%
②	消費生活センターへ相談しても解決すると思えないから	123	14.4%
③	自分で解決したいから	43	5.0%
④	個人情報を知人に知られるのが嫌だから	54	6.3%
⑤	わざわざ相談するのが面倒と思うから	82	9.6%
⑥	相談するほどのことではないと思うから	87	10.2%
⑦	その他	58	6.8%

※回答率＝回答数÷問 32 で②から⑨に○をつけた数（856 人）



## 第25回「市民の声」アンケート自由意見集約結果

### 1 記載の状況

アンケート回収総数 1,012 人中、自由意見欄に記載があったのは 373 人で、回答者全体の 36.9%。記載者全体のうち男性が 40.8%、女性が 57.4%、無回答・不明が 1.8%であった。記載のあった割合は、第24回の 37.0%（996 人中 369 人）と比べ 0.1 ポイント減少した。

#### (1) 性別記載者数

男性 152 人、女性 214 人、無回答・不明 7 人、合計 373 人。

#### (2) 区別記載者数

1 区から 22 区まで全ての区で記載者があり、最小は 2 区の 2 人、最大は 15 区の 57 人、無回答・不明 7 人。

#### (3) 年代別記載者数

18 歳・19 歳では回答がなく 0 人、最大は 60 歳代の 84 人、無回答・不明 3 人。

### 2 項目別内訳

記載内容は、1 人 1 件から、最大 8 件の記載があり、2 件以上について記載されているものについては、それぞれ別分類して 1 件とした。

分類の方法は、概ね事務分掌により分類したが、項目別で数が多いものについては事業名を参考にさらに細かく分類した。なお、賛成・反対の意見は別扱いとせず、1 つの項目とした（一部を除く）。

「活気のある（住みよい）まちづくりを希望します…」といったような、具体的な施策や内容などに触れられていないものについては、「まちづくり」にくくって分類した。

### 3 項目別件数

前項の分類に従って作成した「自由意見記入欄項目別分類」で、分類した数は 117 項目・865 件（前回 726 件）。複数の課や事業に関わるものはそれぞれに掲載した。

項目別に数の多かったものは次のとおり（10 件以上）。

公共交通・交通施策	55 件	動物園・遊園地	22 件	市民対応	14 件
まちづくり・活性化	55 件	高齢者支援	20 件	商業振興	14 件
商店街活性化	36 件	桐ペイ	19 件	交通安全	11 件
子育て支援	33 件	「市民の声」アンケート	19 件	免許返納	11 件
観光振興	30 件	合併	18 件	重伝建・日本遺産	11 件
道路整備・管理	30 件	公園整備・管理	17 件	産業振興	11 件
市政運営	28 件	情報発信	16 件	税金	10 件
企業誘致	24 件	雇用対策・就労支援	15 件	地域医療	10 件
人口減少対策	23 件	学校給食	15 件	河川整備・管理	10 件

#### 4 項目別件数（部局別）

部局別、項目別件数は次のとおり。

##### 秘書室（1項目4件）

市長の活動・方針 4件

##### 共創企画部（15項目225件）

公共交通・交通施策	55件	SDGs	4件
まちづくり・活性化	55件	市長公約	3件
市政運営	28件	ふるさと納税	2件
人口減少対策	23件	都市間連携	2件
合併	18件	大学連携	2件
情報発信	16件	公共施設管理	1件
防災(共創企画部)	9件	広報きりゅう	1件
移住支援	6件		

##### 総務部（15項目89件）

桐ペイ	19件	財政	4件
市民対応	14件	行政管理	4件
税金	10件	庁舎建て替え	4件
職員意識・働き	6件	インターネット・スマートフォン	4件
デジタル化	6件	人事・職員管理・職員数	2件
地価	5件	選挙	2件
納税	4件	マイナンバー(総務部)	1件
庁舎・施設管理	4件		

##### 市民生活部（25項目102件）

「市民の声」アンケート	19件	産廃	2件
交通安全	11件	ごみ収集	2件
免許返納	11件	国際交流	2件
スポーツ施設管理	8件	動物愛護	2件
球都桐生	7件	スポーツ振興	2件
防犯・治安	5件	通学路	1件
環境	4件	駐輪場	1件

防犯灯	4 件	お墓	1 件
文化振興	4 件	男女共同参画	1 件
自治組織	3 件	マイナンバー(市民生活部)	1 件
広聴・市民相談	3 件	斎場	1 件
消費生活センター	3 件	公衆トイレ	1 件
文化施設	3 件		

### 保健福祉部 (13 項目 66 件)

高齢者支援	20 件	医療助成	2 件
地域医療	10 件	障がい者支援	2 件
桐生厚生総合病院	8 件	成人保健	2 件
福祉全般	7 件	コロナ対策	1 件
福祉関連経済対策	5 件	生活保護	1 件
介護保険	4 件	福祉医療	1 件
低所得者支援	3 件		

### 子どもすこやか部 (3 項目 36 件)

子育て支援	33 件	母子保健	1 件
放課後児童クラブ	2 件		

### 産業経済部 (13 項目 158 件)

商店街活性化	36 件	起業支援	5 件
観光振興	30 件	農林振興	4 件
企業誘致	24 件	鳥獣害対策	4 件
雇用対策・就労支援	15 件	経済対策	2 件
商業振興	14 件	勤労福祉会館	1 件
重伝建・日本遺産	11 件	漁業	1 件
産業振興	11 件		

### 都市整備部 (13 項目 115 件)

道路整備・管理	30 件	ソーラーパネル	4 件
動物園・遊園地	22 件	住宅支援	3 件
公園整備・管理	17 件	街路樹	2 件
河川整備・管理	10 件	防災対策(都市整備部)	2 件

都市計画	9件	コンパクトシティ	1件
空き家・空き地対策	9件	外来種	1件
市営（県営）住宅	5件		

### 地域振興整備局（3項目7件）

地域振興	3件	キャンプ場・森林公園	1件
カリビアンビーチ	3件		

### 水道局（2項目8件）

水道・下水道事業	5件	水道料金	3件
----------	----	------	----

### 議会事務局（3項目10件）

議員数・給与	5件	議会運営	1件
議員職務	4件		

### 教育委員会教育部（10項目44件）

学校給食	15件	生涯学習	3件
学校教育	9件	歴史・文化	3件
学校統廃合・新設	4件	公民館	1件
学校施設管理	4件	桐商	1件
図書館	3件	教育支援	1件

### その他（どこにも属さないもの）（1項目1件）

無所属	1件		
-----	----	--	--